

鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事設計書



施行箇所

工 事 番 号		施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事		
工 事 場 所	鶴岡市宝田一丁目地内		
施 工 主	鶴岡市	工事概要 施工延長 L=153.7m  1. 函渠工 耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型） B1, 600×H1, 200                      L=150.0m マットレス基礎 B2, 560×H300（2段）                  A=383m <sup>2</sup>  2. 集水柵工 集水柵 B2, 100×2, 100×H1, 700              N=1基 マットレス基礎 B3, 200×3, 179×H300（2段） A=20m <sup>2</sup>  3. 既設1053路線接続工                      N=1式  4. 付帯工                                      N=1式	
設 計 区 分	実施		
路 線 名	雨水道形第1-1幹線		
工 事 期 間	令和    年    月    日 ～ 令和    年    月    日		
工 事 日 数	日		
部 課 名	下水道部雨水事務室		
積 算 担 当			
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下水道工事(2)						場所区分:一般交通影響有り(2)
雨水施設(補助事業)			1			
土工		式	1			
作業土工		式	1			
床掘り	土砂、標準	m <sup>3</sup>	360			第 1号単価表
床掘り	土砂、標準、切梁腹起式、 障害有り	m <sup>3</sup>	570			第 2号単価表
床掘	土砂、小規模	m <sup>3</sup>	100			第 3号単価表
基面整正		m <sup>2</sup>	400			第 4号単価表
埋戻し	W≤1.00m 購入土(再利用土砂CBR≥12%)	m <sup>3</sup>	140			第 5号単価表
埋戻し	1.00m≤W<4.00m 購入土(再利用土砂CBR≥12%)	m <sup>3</sup>	80			第 6号単価表
埋戻し	W≤1.00m 流用土	m <sup>3</sup>	130			第 7号単価表
埋戻し	1.00m≤W<4.00m 流用土	m <sup>3</sup>	40			第 8号単価表
残土運搬(流用土)	L=2.0km以下 往路-積込-復路	m <sup>3</sup>	190			第 9号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
残土運搬処理	L=2.0km以下	m <sup>3</sup>	850			第 10号単価表
排水構造物工		式	1			
函渠工		式	1			
ボックスカルバート設置	B1, 600×H1, 200	m	150			第 11号単価表
ボックスカルバート材料費		式	1			第 12号単価表
ボックスカルバート基礎	GN-150MP H300(2層)×W2,560	m <sup>2</sup>	383			第 13号単価表
集水柵工	No. 1031-E-1	式	1			
集水柵工 (No. 1031-E-1)	2,100×2,100×1,700	式	1			第 14号単価表
集水柵基礎工	GN-150MP H300(2層)×3,200×3,179	m <sup>2</sup>	20			第 15号単価表
点検孔工	No. 29+1.54	式	1			
蓋(受枠とも)及び調整コンクリートブロック据付工		組	1			第 16号単価表
マンホール(φ900)緊結金具、シール	調整リング 600×50	個	1			
マンホール調整金具	調整高45mmまで	組	1			

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
人孔鉄蓋（蓋及び受枠）、浮上防止除雪対応	T-14 φ600カッター防止蝶番付	組	1			
足掛け金物取り付け		個	4			第 17号単価表
既設1053路線接続工		式	1			
基礎砕石	17.5cmを超え20.0cm以下	m <sup>2</sup>	3			第 18号単価表
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、バックホウ（クレーン機能付）打設、18-8-40	m <sup>3</sup>	2			第 19号単価表
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m <sup>2</sup>	12			第 20号単価表
鉄筋工	一般構造物	t	0.02			第 21号単価表
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	19			第 22号単価表
コンクリートアンカー用樹脂カプセル	ARケミカルセッターMU-12相当品	本	19			
目地板	30m <sup>2</sup> 未満	m <sup>2</sup>	0.9			第 23号単価表
単管足場工	（安全ネットあり）	掛m <sup>2</sup>	7			第 24号単価表
単管傾斜足場工	（安全ネットあり）	掛m <sup>2</sup>	2			第 25号単価表
鋼管設置工（硬質塩化ビニル管設置工準用）	管径200mm	m	1.4			第 26号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管用炭素鋼管（黒ねじ無し管）	SGP 200A JIS-G3452	m	1.4			
硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm	m	1.6			第 27号単価表
接着受口カー(WTB)	150mm	個	1			
VU管 ゴム輪受口ヤトリ継手	φ 150mm	個	1			
大型土のう製作・設置	バックホリ設置	袋	10			第 28号単価表
大型土のう撤去	バックホリ撤去	袋	10			第 29号単価表
土のう工	仕拵・積立・撤去	袋	4			第 30号単価表
構造物撤去工		式	1			
構造物取壊し工		式	1			
舗装切断		m	169			第 31号単価表
舗装版破砕	アスファルト舗装版、15cm以下	m <sup>2</sup>	545			第 32号単価表
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	無筋構造物 制約無, 低騒音 ・低振動対策不要	m <sup>3</sup>	30			第 33号単価表
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無, 低騒音 ・低振動対策不要	m <sup>3</sup>	47			第 34号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬処理工		式	1			
殻運搬処理工	As殻、運搬距離L=10.5km以下（鶴岡建設）	m <sup>3</sup>	46			第 35号単価表
殻運搬処理工	無筋Co殻、運搬距離L=8.0km以下（田川砂利工業）	m <sup>3</sup>	30			第 36号単価表
殻運搬処理工	鉄筋Co殻、運搬距離L=8.0km以下（田川砂利工業）	m <sup>3</sup>	47			第 37号単価表
付帯工		式	1			
舗装工	歩道（一般部）	式	1			
下層路盤（歩道部）	t=10cm、1層施工、RC-40	m <sup>2</sup>	294			第 38号単価表
表層（歩道部）	1.4m以上、t=3cm、再生細粒度アスコン(13)	m <sup>2</sup>	294			第 39号単価表
舗装工	歩道（第1種通路）	式	1			
下層路盤（歩道部）	t =20cm、1層施工、RC-40	m <sup>2</sup>	106			第 40号単価表
上層路盤（歩道部）	t=10cm、1層施工、M-40	m <sup>2</sup>	42			第 41号単価表
基層（歩道部）	1.4m以上、t=10cm、再生粗粒度アスコン（20）	m <sup>2</sup>	42			第 42号単価表
表層（歩道部）	1.4m以上、t=5cm、再生密粒度アスコン（20F）	m <sup>2</sup>	42			第 43号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤（歩道部）仮復旧	t=20cm、2層施工、M-40	m <sup>2</sup>	64			第 44号単価表
表層（歩道部）仮復旧	1.4m以上、t=5cm、再生密 粒度アスコン(13)	m <sup>2</sup>	93			第 45号単価表
舗装工	車道	式	1			
下層路盤（歩道部）	t=47cm、3層施工、RC-40	m <sup>2</sup>	51			第 46号単価表
上層路盤（歩道部）	t=12cm、1層施工、M-40	m <sup>2</sup>	34			第 47号単価表
基層（歩道部）	1.4m未満、t=5cm、再生粗 粒度アスコン（20）	m <sup>2</sup>	55			第 48号単価表
表層（歩道部）	1.4m未満、t=5cm、密粒度ア スコン（20F）改質Ⅱ型	m <sup>2</sup>	55			第 49号単価表
上層路盤（歩道部）仮舗装	t=17cm、2層施工、M-40	m <sup>2</sup>	51			第 50号単価表
表層（歩道部）仮復旧	1.4m未満、t=5cm、再生密 粒度アスコン（13）	m <sup>2</sup>	61			第 51号単価表
側溝工		式	1			
L型側溝設置工（L=2000mm）標 準部	1000kg/個以下 制約無,基 礎碎石施工する	m	117			第 52号単価表
L型側溝設置工（L=2000mm）切 下げ部	1000kg/個以下 制約無,基 礎碎石施工する	m	5			第 53号単価表
路面排水ます工		式	1			

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
プレキャスト集水枳		基	9			第 54号単価表
歩車道境界ブロック	設置、B種(180/205×250×600)	m	5.4			第 55号単価表
硬質塩化ビニル管設置工	管径150mm	m	11			第 56号単価表
90°曲管(副管用)(ST)	接着受口 150mm	個	9			
ボックスカルバート工		式	1			
ボックスカルバート	据付、2.0m/個、 $0 < B \leq 1.2$ $5 \ 0 < H \leq 1.25$	m	0.9			第 57号単価表
境界ブロック工		式	1			
地先境界ブロック	設置、C種(150×150×600)	m	120			第 58号単価表
歩車道境界ブロック	設置、A種(150/170×200×600)	m	48			第 59号単価表
防護柵・門扉撤去工(再利用撤去)		式	1			
ネットフェンス(本体)撤去工	再利用,基礎状況B、柵高1.2m	m	114			第 60号単価表
ネットフェンス(門扉)撤去工	再利用,ネット式片開	組	6			第 61号単価表
ネットフェンス(門扉)撤去工	再利用,ネット式両開	組	1			第 62号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガードパイプ撤去工（土中建込）	塗装品 Gp-Cp-2E	m	6			第 63号単価表
横断・転落防止柵撤去工（C o 建込用）	ビーム式・パネル式 支柱間隔2m	m	4			第 64号単価表
防護柵・門扉設置工		式	1			
メッシュフェンス設置（布基礎）	再利用	m	114			第 65号単価表
門扉設置	再利用、片開き	基	6			第 66号単価表
門扉設置	両開き	基	1			第 67号単価表
ガードパイプ設置工（土中建込）	再利用、塗装品 Gp-Cp-2E、 曲線部	m	6			第 68号単価表
横断・転落防止柵設置工（C o 建込用）	再利用、ビーム式・パネル式 支柱間隔2m	m	4			第 69号単価表
植栽移植（仮移植・本移植）		式	1			
道路植栽工 移植工（中木）仮設	樹高 200～300cm未満	本	79			第 70号単価表
道路植栽工 移植工（中木）復旧	樹高 200～300cm未満	本	79			第 71号単価表
函渠工端部処理工		式	1			
敷鉄板設置工		m <sup>2</sup>	3.3			第 72号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板(鋼板・厚22) 購入価格	914×1829	枚	2			
大型土のう製作・設置	バックホリ設置、耐候性大型土のう	袋	2			第 73号単価表
仮設工		式	1			
土留め工		式	1			
建込工(両側分)	掘削深 2.5m以下	m	148			第 74号単価表
引抜工(両側分)	掘削深 2.5m以下	m	148			第 75号単価表
建込簡易土留賃料及び整備費		式	1			
軽量鋼矢板油圧圧入工	圧入長 4.0m以下	枚	44			第 76号単価表
油圧式杭圧入引抜機据付解体工(圧入)	工事着工及び現場内移設	回	1			第 77号単価表
軽量鋼矢板油圧引抜工	引抜長 4.0m以下	枚	44			第 78号単価表
油圧式杭圧入引抜機据付解体工(引抜き)	工事着工及び現場内移設	回	1			第 79号単価表
土留支保工(軽量金属支保工)	2段、掘削深3.5m以下、水圧式バックホリ	m	14			第 80号単価表
軽量鋼矢板賃料及び整備費		式	1			

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水替工		式	1			
ポンプ据付・撤去工	口径50mm、揚程5m×1~2台	現場	1			第 81号単価表
ポンプ運転工（常時排水、商用電源）	口径50mm、揚程5m×1台	式	1			第 82号単価表
交通管理工		式	1			
交通誘導員	交通誘導警備員B	式	1			第 83号単価表
污水施設（単独事業）			1			
污水管路布設工		式	1			
作業土工		式	1			
床掘り<雨水共埋>	土砂、標準	m <sup>3</sup>	18			第 84号単価表
床掘り<雨水共埋>	土砂、標準、切梁腹起式、 障害有り	m <sup>3</sup>	48			第 85号単価表
床掘り	土砂、小規模	m <sup>3</sup>	11			第 86号単価表
機械掘削工（バックホウ）		m <sup>3</sup>	14			第 87号単価表
埋戻し<雨水共埋>	1.00m≦W<4.00m 購入 土（再利用土砂CBR≧12%）	m <sup>3</sup>	46			第 88号単価表

# 本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し	W≤1.00m 購入土（再利用土砂CBR≥12%）	m <sup>3</sup>	20			第 5号単価表
残土運搬処理	L=2.0km以下	m <sup>3</sup>	90			第 10号単価表
管路布設工		式	1			
砕石基礎設置工（人力施工）		m <sup>3</sup>	8			第 89号単価表
リブ付硬質塩化ビニル管設置工	管径200mm	m	57			第 90号単価表
下水道用埋設表示シート		m	57			第 91号単価表
埋設表示テープ	幅30mm 厚0.15mm±0.03mm	m	77			
リブメント（JSWAS K13同等品）	φ 200mm 10°	本	1			
マンホール用可とう継手	塩ビ管用 φ 200mm	個	1			
管路土留工・水替工		式	1			
建込工（両側分）	掘削深 2.5m以下	m	13			第 92号単価表
引抜工（両側分）	掘削深 2.5m以下	m	13			第 93号単価表
建込簡易土留賃料及び整備費＜ 污水単独区間＞		式	1			

# 本 工 事 内 訳 書

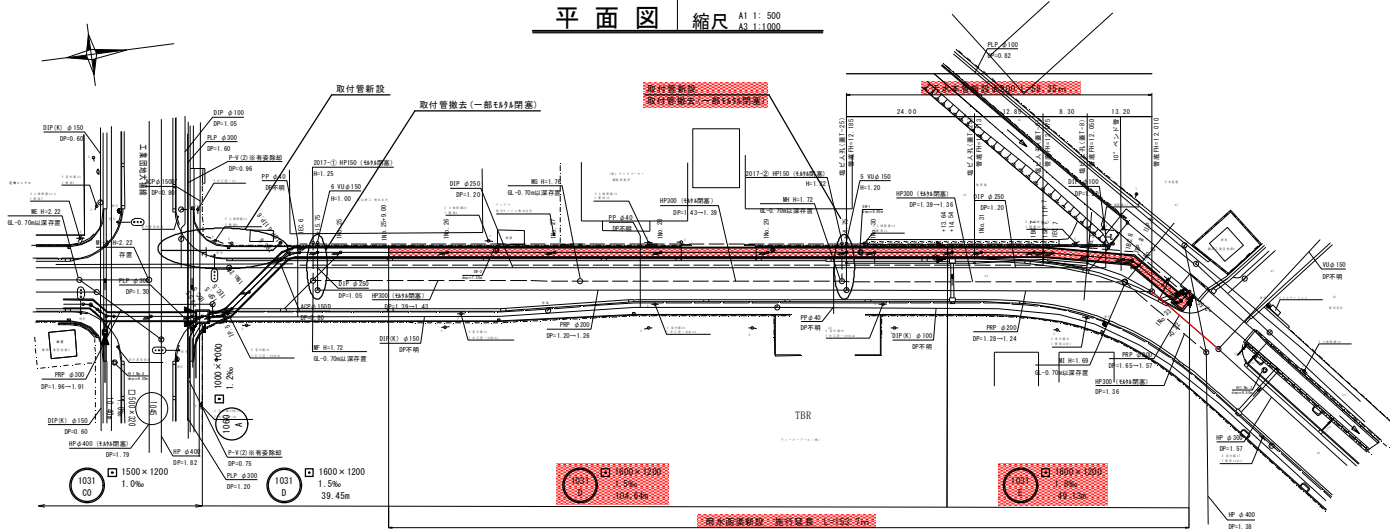
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ポンプ据付・撤去工	口径50mm、揚程5m×1～2台	現場	1			第 94号単価表
ポンプ運転工（作業時排水）	口径50mm、揚程5m×1台	式	1			第 95号単価表
マンホール工		式	1			
小型マンホール工（塩化ビニル製）（起点、中間形式）	径300mm 深3.5m以下	箇所	4			第 96号単価表
鋳鉄製防護蓋設置費	加算額（小型マンホール）	箇所	4			第 97号単価表
保護鉄蓋	φ300mm T-8 沈下防止板含む 市章入り デザイン型	組	2			
保護鉄蓋	φ300mm T-25 沈下防止板含む 市章入り デザイン型	組	2			
取付管及び柵工		式	1			
取付管布設工及び支管取付工	管径150	箇所	1			第 98号単価表
鋼管布設工（鉄筋コンクリート管布設工準用）	呼び径 250mm	m	2.6			第 99号単価表
配管用炭素鋼管（黒ねじ無し管）	SGP 250A JIS-G3452	m	2.6			
下水道用埋設表示シート		m	2			第 100号単価表
埋設表示テープ	幅30mm 厚0.15mm±0.03mm	m	2			

# 本 工 事 内 訳 書

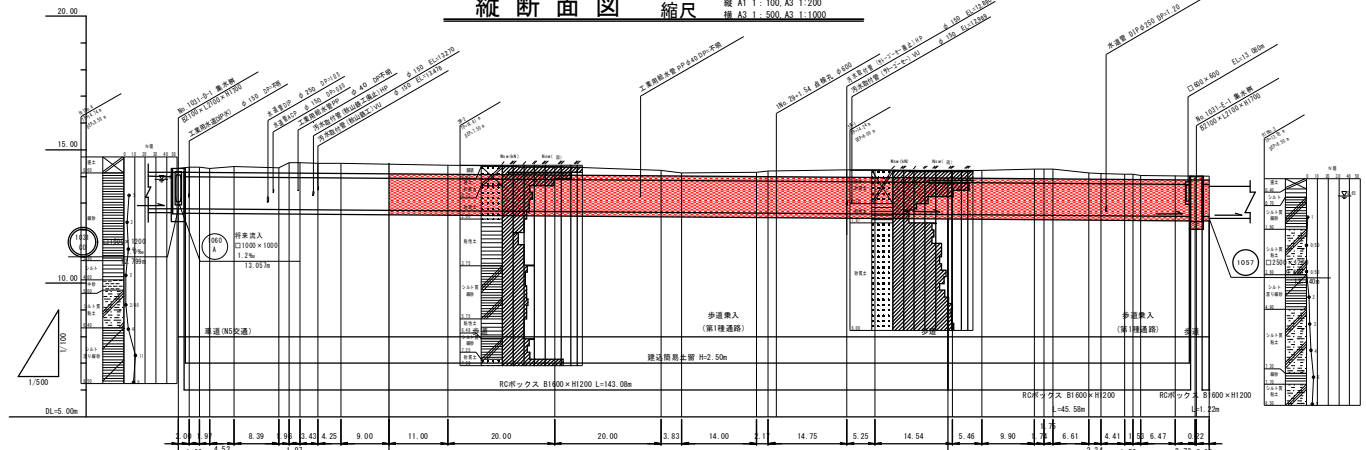
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ます設置工(塩化ビニル製)	ます(径200)	箇所	1			第 101号単価表
交通管理工		式	1			
交通誘導員<汚水分>	交通誘導警備員B	式	1			第 102号単価表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費		式	1			第 7号内訳書
技術管理費		式	1			第 8号内訳書
共通仮設費		式	1			
現場環境改善費		式	1			第 9号内訳書
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						
一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする



# 平面図 縮尺 A1 1: 500 A3 1: 1,000

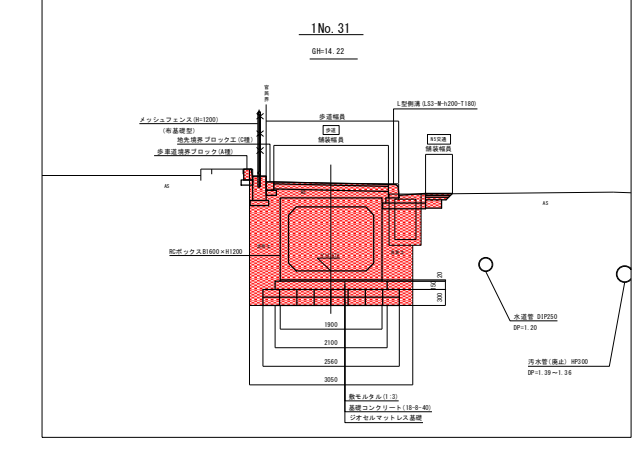
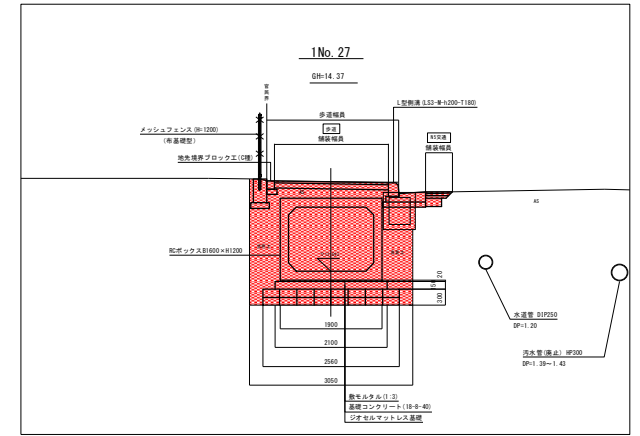


# 縦断面図 縮尺 縦 A1 1: 100, A3 1: 200 横 A3 1: 500, A3 1: 1,000



管線番号	管線名称	管線径 (mm)	管線高 (mm)	管線深 (mm)	管線長 (m)	管線材料	管線仕様	管線位置
1031 A	歩道歩入 (新)種道橋	1600×1200	14.30	14.30	13.05	RCボックス	RCボックス B1600×H1200 L=143.00m	歩道歩入 (新)種道橋
1031 B	歩道歩入 (新)種道橋	1600×1200	14.30	14.30	13.05	RCボックス	RCボックス B1600×H1200 L=45.50m	歩道歩入 (新)種道橋
1031 C	歩道歩入 (新)種道橋	1600×1200	14.30	14.30	13.05	RCボックス	RCボックス B1600×H1200 L=11.20m	歩道歩入 (新)種道橋

# 標準横断面図 縮尺 A1 1: 50 A3 1: 100



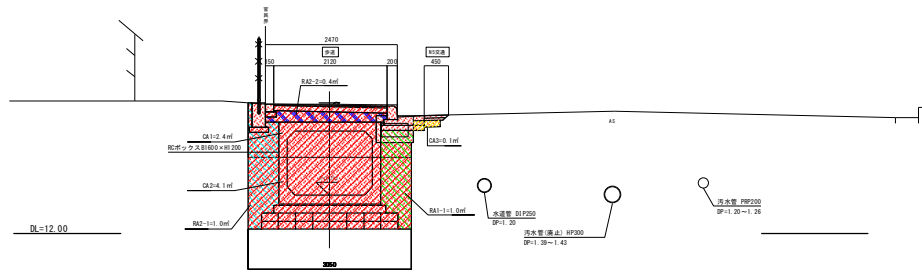
座標一覧表

点名	東座標	北座標
1031 A	4717.77	14293.19
1031 B	4717.77	14293.19
1031 C	4717.77	14293.19

実施

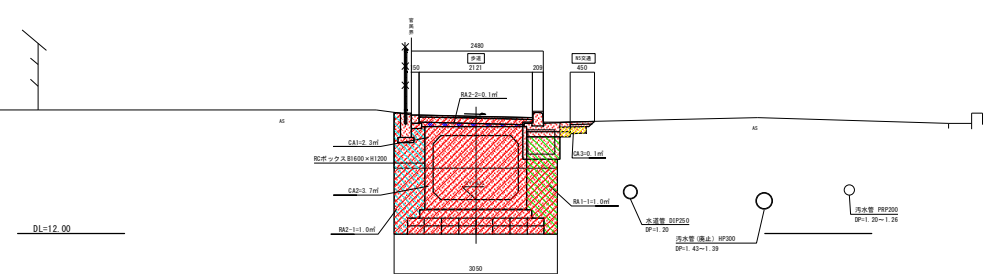
令和 8 年度	図番	23 葉 1
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水道形第一1号線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
平面図・縦断面図・標準横断面図 (1031-A, 1031-B, 1031-C)		
縮尺	図示	鶴岡市

1No. 26  
BH=14.42



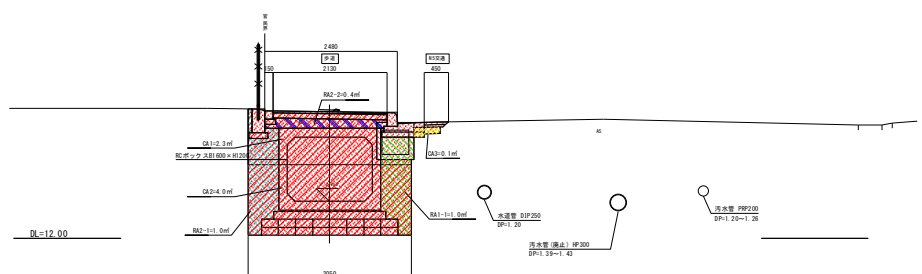
記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(厚版)	土砂	m <sup>2</sup>	2.4
CA2	床版	土砂	m <sup>2</sup>	4.1
CA3	床版	土砂	m <sup>2</sup>	0.1
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA2-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.4

1No. 29  
BH=14.20



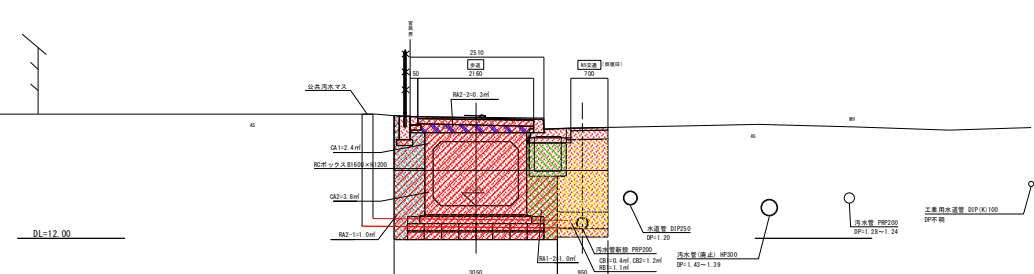
記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(厚版)	土砂	m <sup>2</sup>	2.2
CA2	床版	土砂	m <sup>2</sup>	2.7
CA3	床版	土砂	m <sup>2</sup>	0.1
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA2-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.1

1No. 27  
BH=14.37



記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(厚版)	土砂	m <sup>2</sup>	2.3
CA2	床版	土砂	m <sup>2</sup>	4.0
CA3	床版	土砂	m <sup>2</sup>	0.1
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA2-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.4

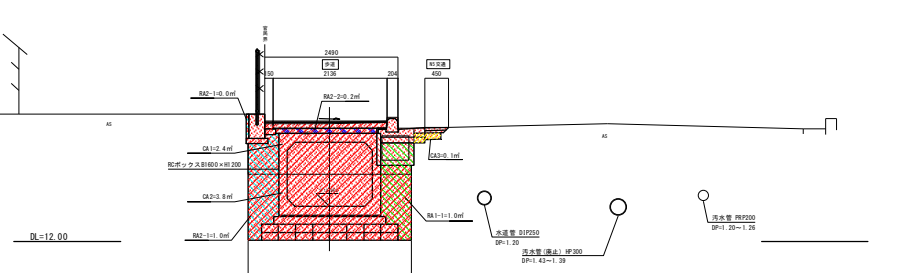
1No. 29+16.29  
BH=14.26



記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(厚版)	土砂	m <sup>2</sup>	2.7
CA2	床版	土砂	m <sup>2</sup>	3.3
CA3	床版	土砂	m <sup>2</sup>	0.2
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.7

記号	種別	規格	単位	数量
CA11	床版	土砂	m <sup>2</sup>	0.4
CA21	床版	土砂	m <sup>2</sup>	1.2
CA31	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.1

1No. 28  
BH=14.24

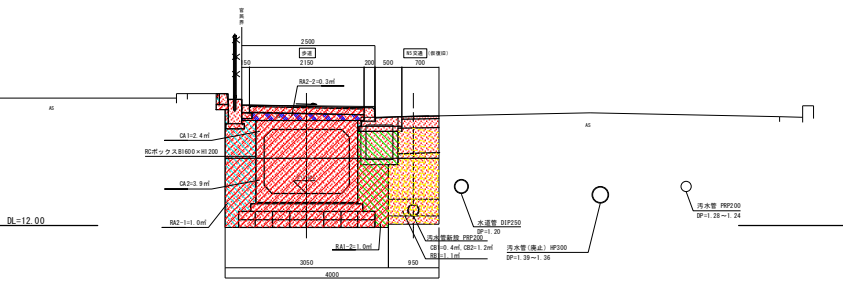


記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(厚版)	土砂	m <sup>2</sup>	2.4
CA2	床版	土砂	m <sup>2</sup>	3.8
CA3	床版	土砂	m <sup>2</sup>	0.1
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA2-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.2

実施	令和 8 年度	図番	23 葉 2
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
横断面図 1031-D (1No. 26~1No. 29+16.29)			
縮尺	1:50 (A1)	鶴岡市	
	1:100 (A3)		

注記：官民界については現地を確認すること。

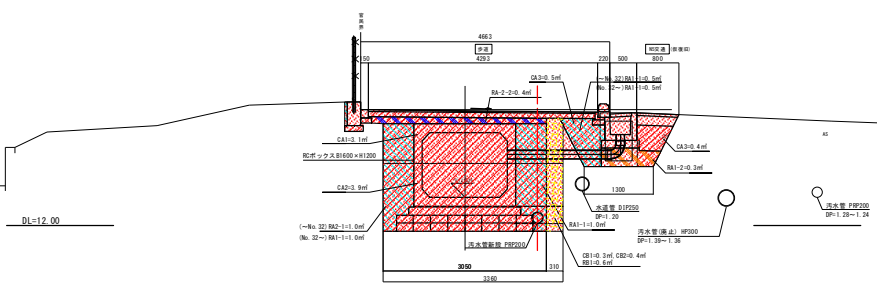
1No. 30  
GH=14.25



記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	2.4
CA2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	3.9
CA3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-1	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.2

記号	種別	規格	単位	数量
CB1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	0.4
CB2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	1.2
CB3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BB1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.1

1No. 32  
GH=14.14

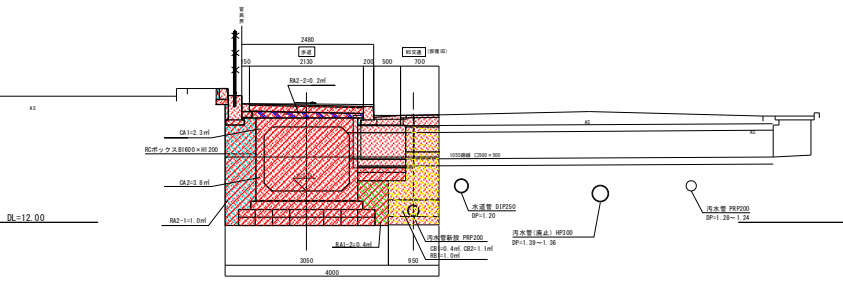


記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	3.7
CA2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	3.3
CA3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.1
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.3
BA2-1	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.4

記号	種別	規格	単位	数量
CB1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	0.3
CB2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.4
CB3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BB1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.6

記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	3.1
CA2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	3.3
CA3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	2.5
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.3
BA2-1	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.0
BA2-2	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.4

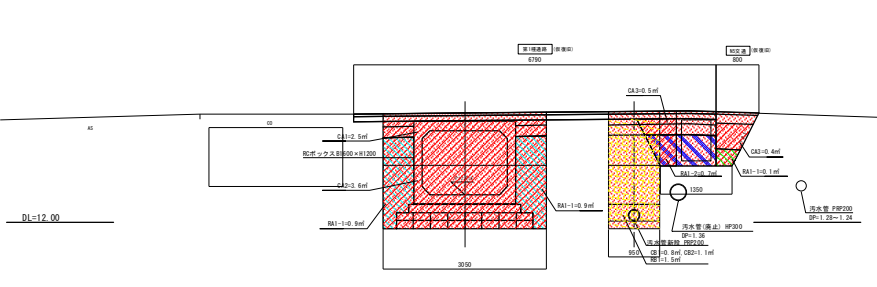
1No. 30+14.54  
GH=14.21



記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	2.3
CA2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	3.8
CA3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.4
BA2-1	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.2

記号	種別	規格	単位	数量
CB1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	0.4
CB2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	1.1
CB3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BB1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0

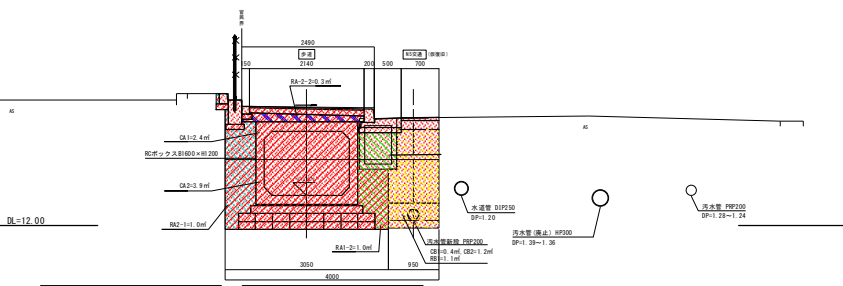
1EC. 8  
GH=14.05



記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	2.5
CA2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	3.4
CA3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.8
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.2
BA2-1	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.0
BA2-2	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.0

記号	種別	規格	単位	数量
CB1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	0.8
CB2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	1.1
CB3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BB1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.5

1No. 31  
GH=14.22



記号	種別	規格	単位	数量
CA1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	2.4
CA2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	3.9
CA3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	0.0
BA1-2	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-1	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	1.0
BA2-2	埋戻し	汎用土	m <sup>3</sup>	0.2

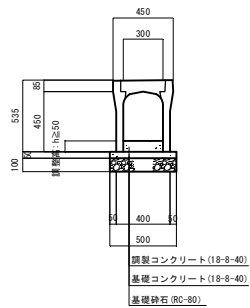
記号	種別	規格	単位	数量
CB1	床版(字脚)	土砂	m <sup>3</sup>	0.4
CB2	床版	土砂	m <sup>3</sup>	1.2
CB3	床版	土砂	m <sup>3</sup>	0.0
BB1	埋戻し	改良土	m <sup>3</sup>	1.1

実施			
令和 8 年度	図番	23 葉 3	
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
横断面図 1031-0, 1031E (1No. 30~1E08)			
縮尺	1:50 (A1)	鶴岡市	
	1:100 (A3)		

注記：官民界については現地で確認すること。

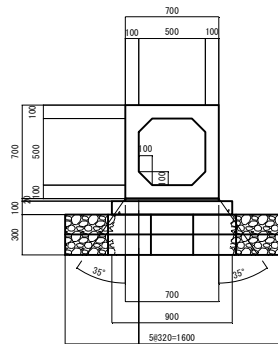
雨水渠標準構造図 縮尺 A1 1:20 A3 1:40

自由勾配側溝B300×H400  
(1032-3路線)



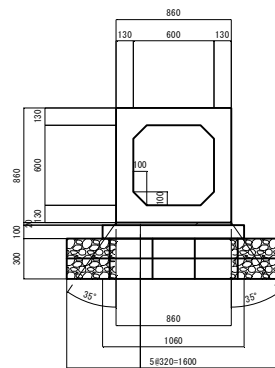
調整コンクリート(18-8-40)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
基礎砂石(R0-80)

ボックスカルバートB500×H500  
(高弾性接着継手型:抜出し性能10mm)  
(1032-5路線)



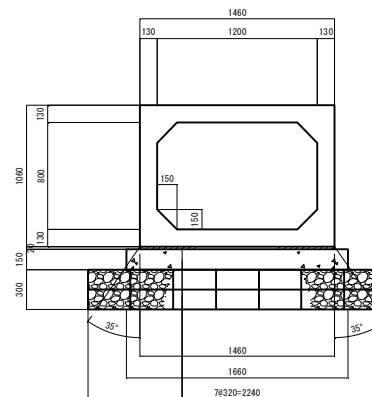
敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

ボックスカルバートB600×H600  
(耐震性ゴムリング型:抜出し性能10mm)  
(1032-4路線)



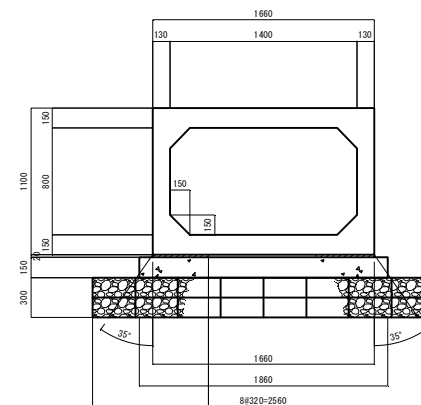
敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

ボックスカルバートB1200×H800  
(耐震性ゴムリング型:抜出し性能10mm)  
(1025路線)



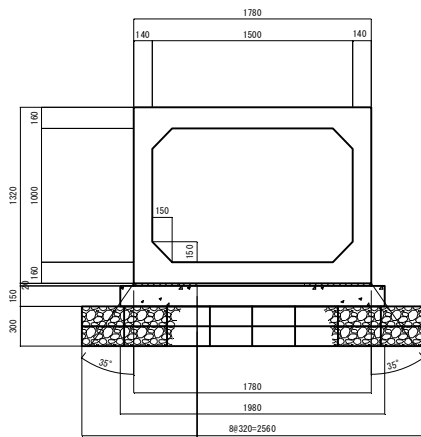
敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

ボックスカルバートB1400×H800  
(耐震性ゴムリング型:抜出し性能10mm)  
(1026路線)



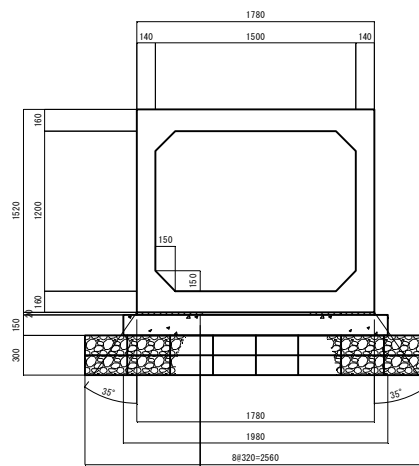
敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

ボックスカルバートB1500×H1000  
(耐震性ゴムリング型:抜出し性能10mm)  
(1031-A-1路線、1031-A-2路線)



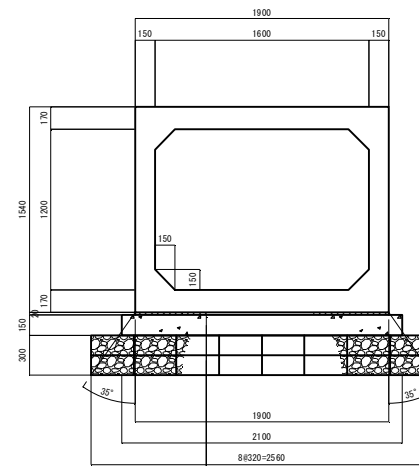
敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

ボックスカルバートB1500×H1200  
(耐震性ゴムリング型:抜出し性能10mm)  
(1031-A-3路線、1031-C0路線)



敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

ボックスカルバートB1600×H1200  
(耐震性ゴムリング型:抜出し性能10mm)  
(1031-D路線、1031-E路線)

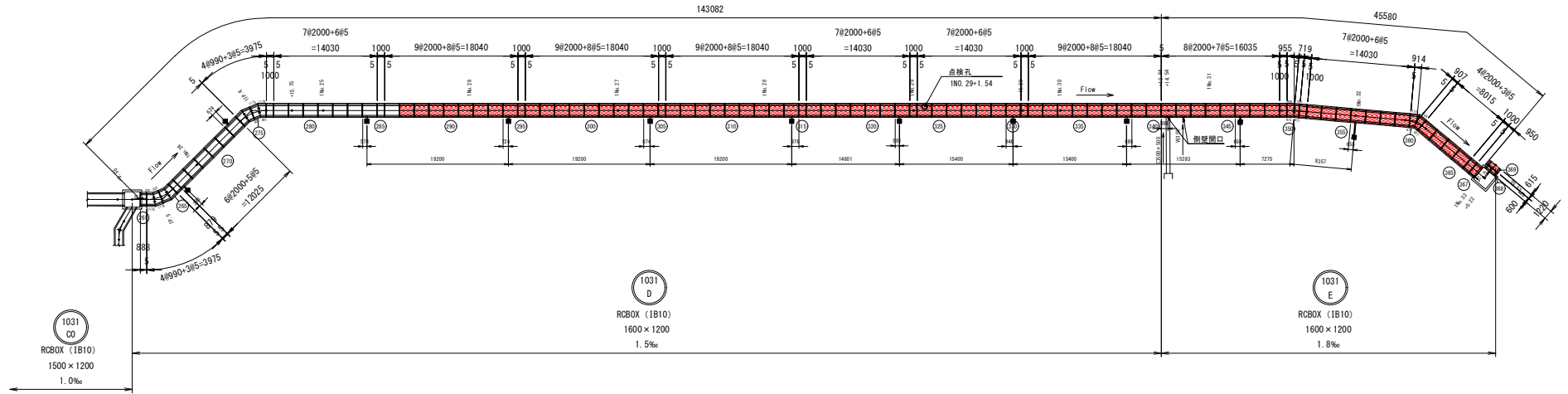


敷モルタル(1:3)  
基礎コンクリート(18-8-40)  
ジオセル基礎(150MP:2層)

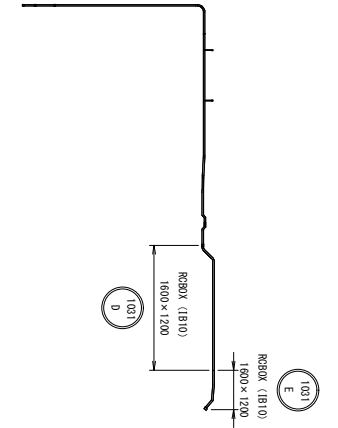
実施	
令和 8 年度	図番 23 葉 4
事業名	鶴岡市公共下水道事業
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
雨水渠標準構造図	
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)
鶴岡市	

# RCボックスカルバート割付図(3)

平面図 縮尺 A1 1:300  
A3 1:600



位置図

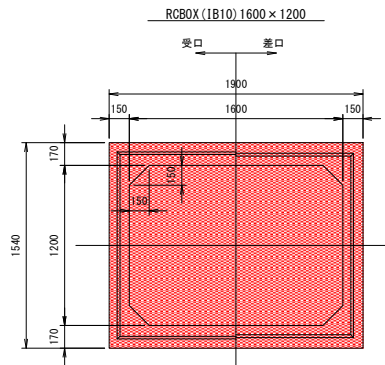


ボックスカルバート 数量表 (1031-D, 1031-E路線)

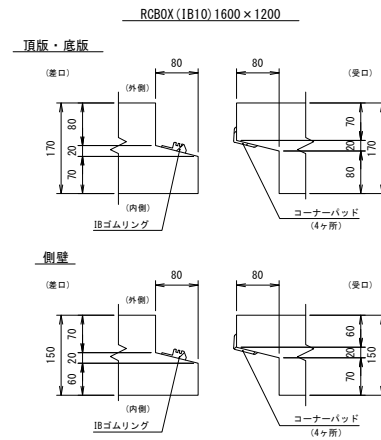
内幅×内高 (mm)	製品長 (mm)	全長 実数	数量	参考重量 (kg)	備 考	割付No.
B1600×H1200 (1B10)	2000	60	87	5260	標準品	
	2000	11	8	5250	側壁 (RH) 開口付き ※1	267, 272, 284, 294, 304, 314, 322, 330, 338, 346
	2000	1	1	5140	頂板 (直線) 開口付き	344
					足掛金物 (R300) 4個付き	344
	2000	1	1	5030	側壁 (BOX) 500 開口付き	341
	2000	1	1	5250	側壁 (VUφ150) 開口付き	342
	879	1	1	2320	短尺品	266
	1000	10	8	2630	短尺品	277, 285, 288, 306, 316, 323, 331, 346, 362, 366
	888	1	1	2340	短尺品, メスカット	261
	950	1	1	2500	短尺品, オスカット	363
	600	1	1	1580	短尺品, メスカット	364
	615	1	1	1620	短尺品, オスカット	363
	1178/801	4	4	2610	斜切品, オスカット ※2	262, 264, 273, 275
	1178/801	4	4	2610	斜切品, メスカット ※2	263, 265, 274, 276
	996/813	1	1	2520	斜切品, オスカット ※2	365
	760/677	1	1	1890	斜切品, メスカット ※2	361
	1214/615	1	1	2410	斜切品, オスカット ※2	364
	1206/607	1	1	2390	斜切品, メスカット ※2	363
	合計		109	83		

※1. 開口 (VU150) 位置は製品ごとに異なる。  
※2. 斜切品はカット側にフランジを設置する。

標準断面図 縮尺 A1 1:20  
A3 1:40



目地詳細図 縮尺 A1 1:5  
A3 1:10

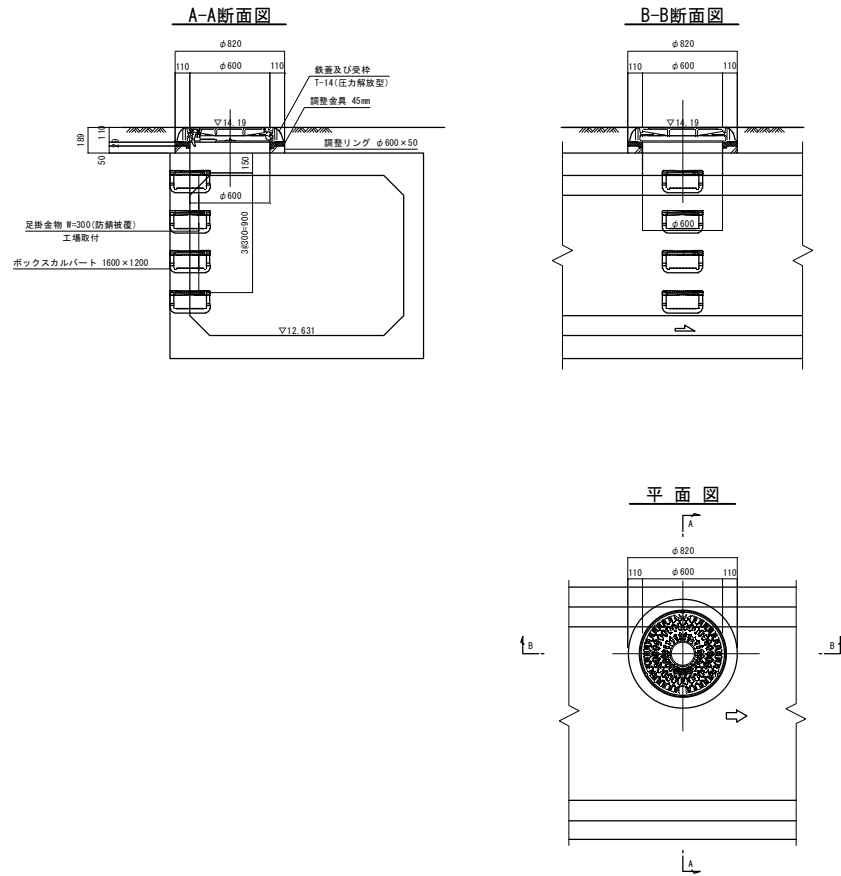


実施

令和 8 年度	図 番	23 策 5
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
RCボックスカルバート割付図(3)		
縮尺 図示	鶴岡市	

点検孔構造図(2) 縮尺 A1 1:20 A3 1:40

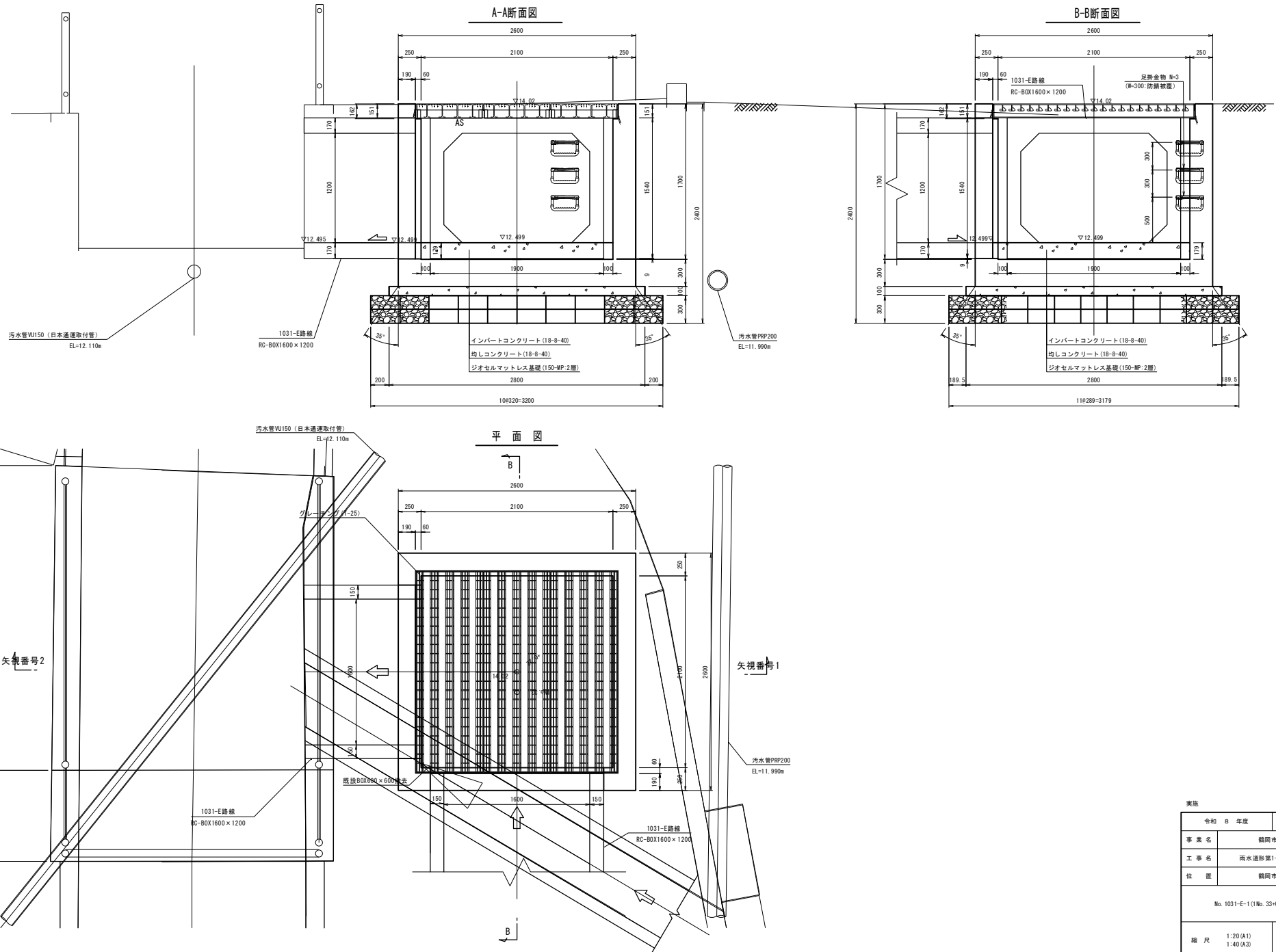
No. 29+1.54 点検孔



実施	令和 8 年度	図番	23 策 6
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
点検孔構造図(2)			
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)	鶴岡市	

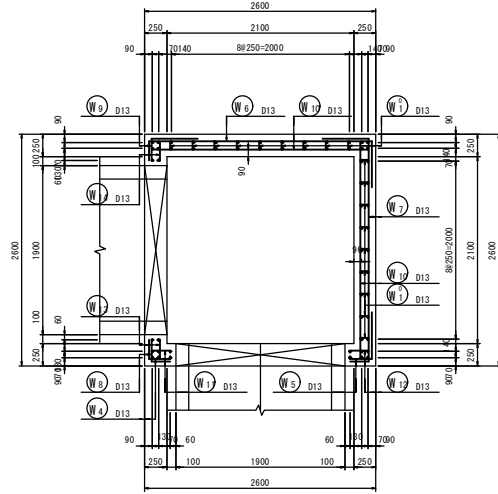
No. 1031-E-1 (1No. 33+0.22) 集水樹構造図

縮尺 A1 1:20  
A3 1:40

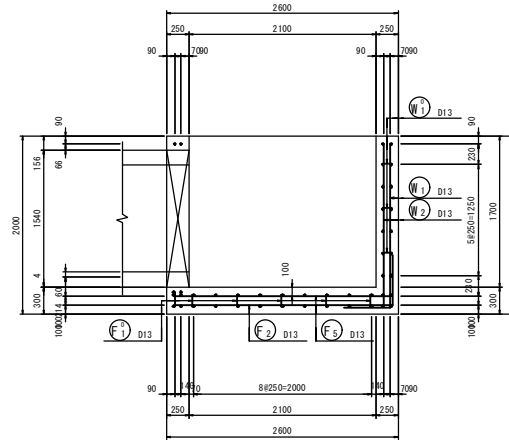


実施	令和 8 年度	図番	23 菜 7
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
No. 1031-E-1 (1No. 33+0.22) 集水樹構造図			
縮尺	1:20 (A1) 1:40 (A3)	鶴岡市	

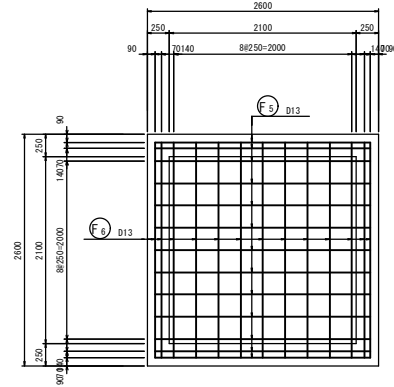
A - A  
(平断面図)



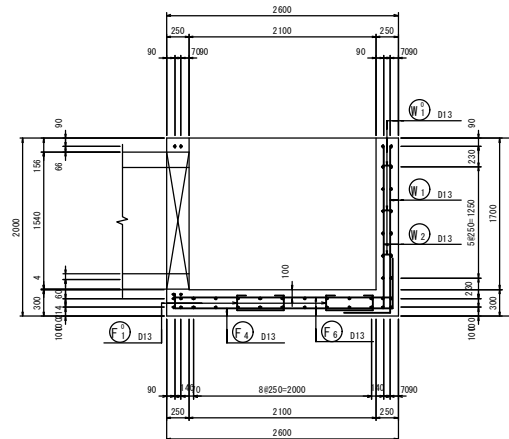
B - B  
(断面図)



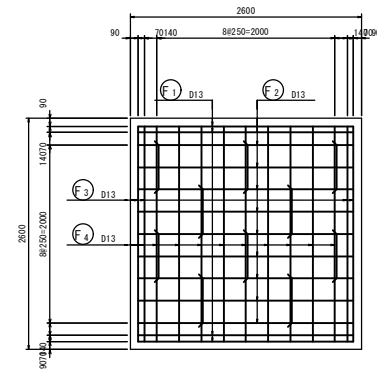
D - D  
(底板上面)



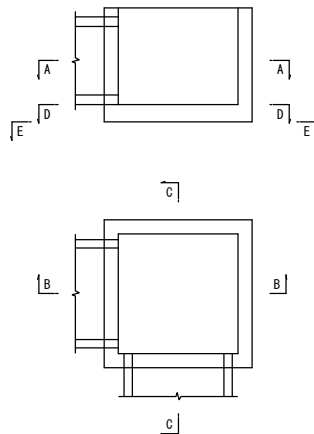
C - C  
(断面図)



E - E  
(底板下面)



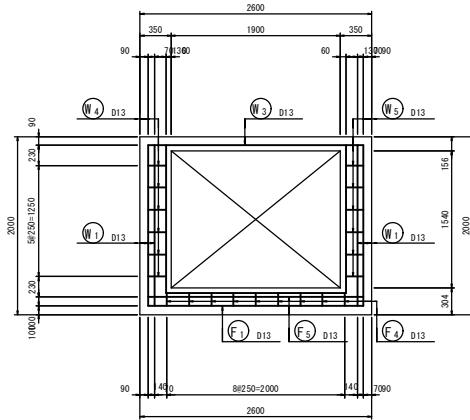
位置図



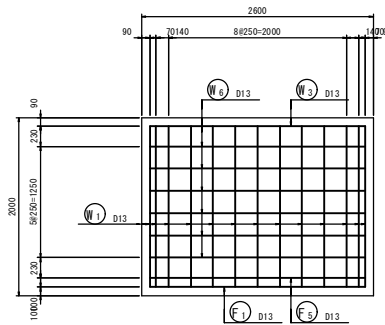
実施

令和 8 年度	図番	23 策 8
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
No. 1031-E-1 (1No. 23+0.22) 集水桧配筋図(1)		
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	鶴岡市

F - F  
(側壁外面)

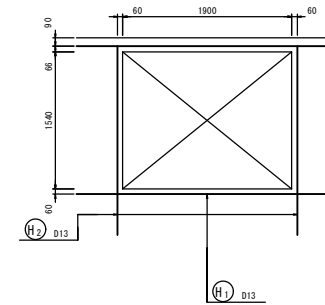


H - H  
(側壁外面)

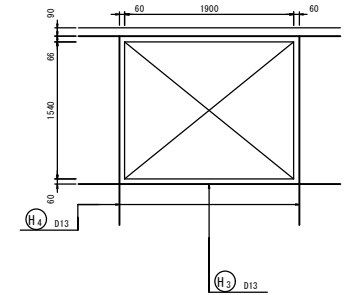


開口部補強鉄筋  
(ひび割れ防止筋)

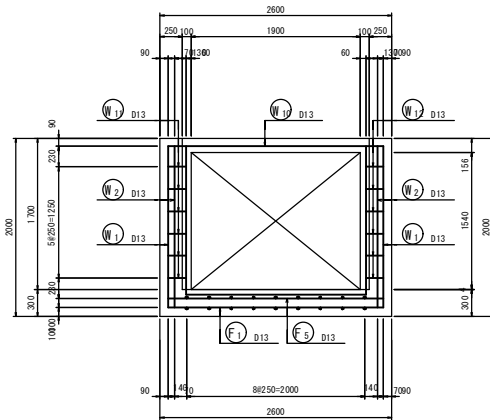
F - F  
(側壁外面)



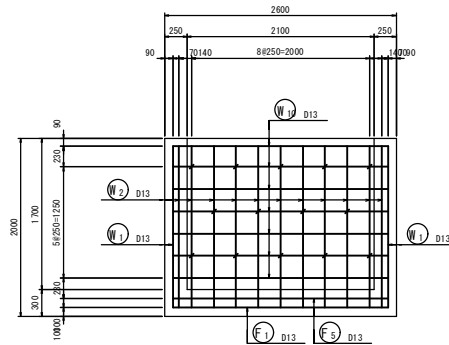
G - G  
(側壁内面)



G - G  
(側壁内面)

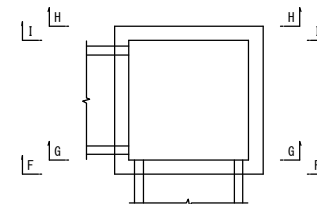


I - I  
(側壁内面)



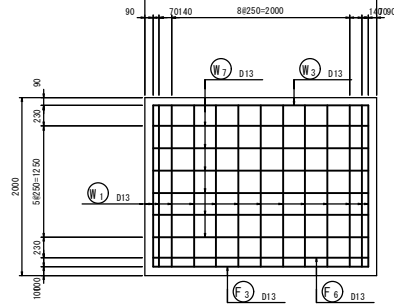
※ひび割れ防止筋の配置例を示す。  
構造物端部等で配置が困難な場合は現場にて折り曲げ等の対処をしてもよい。

位置図

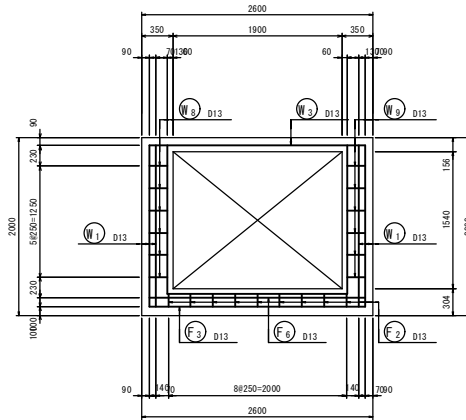


実施	令和 8 年度	図番	23 策 9
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
No. 1031-E-1 (1No. 23+0.22) 集水桝配筋図(2)			
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	鶴岡市	

J - J  
(側壁外面)

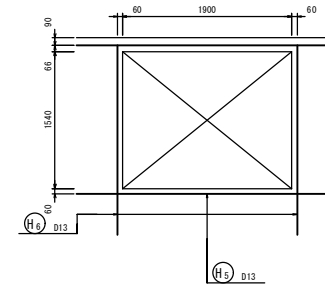


L - L  
(側壁外面)

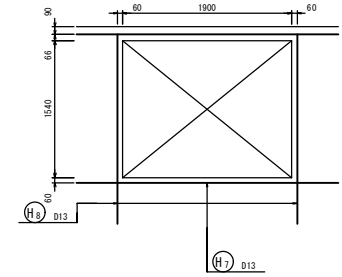


開口部補強鉄筋  
(ひび割れ防止筋)

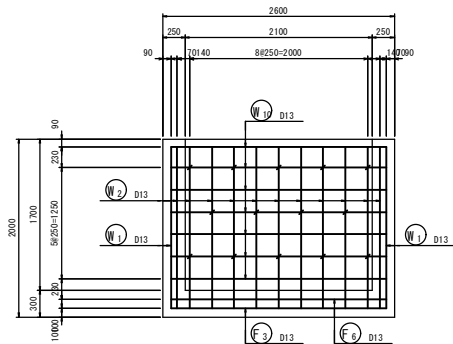
L - L  
(側壁外面)



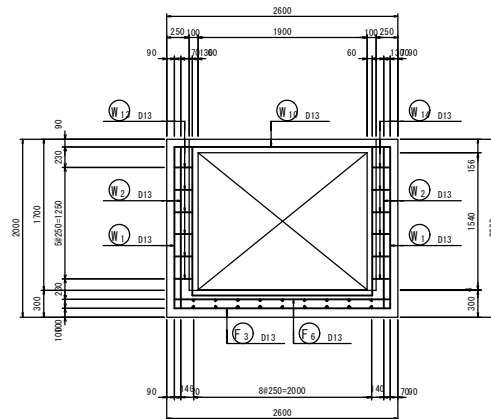
M - M  
(側壁内面)



K - K  
(側壁内面)

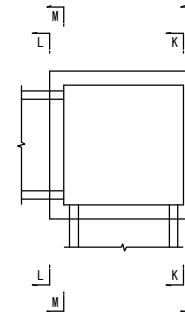


M - M  
(側壁内面)



※ひび割れ防止筋の配置例を示す。  
構造物端部等で配置が困難な場合は現場にて折り曲げ等の対処をしてもよい。

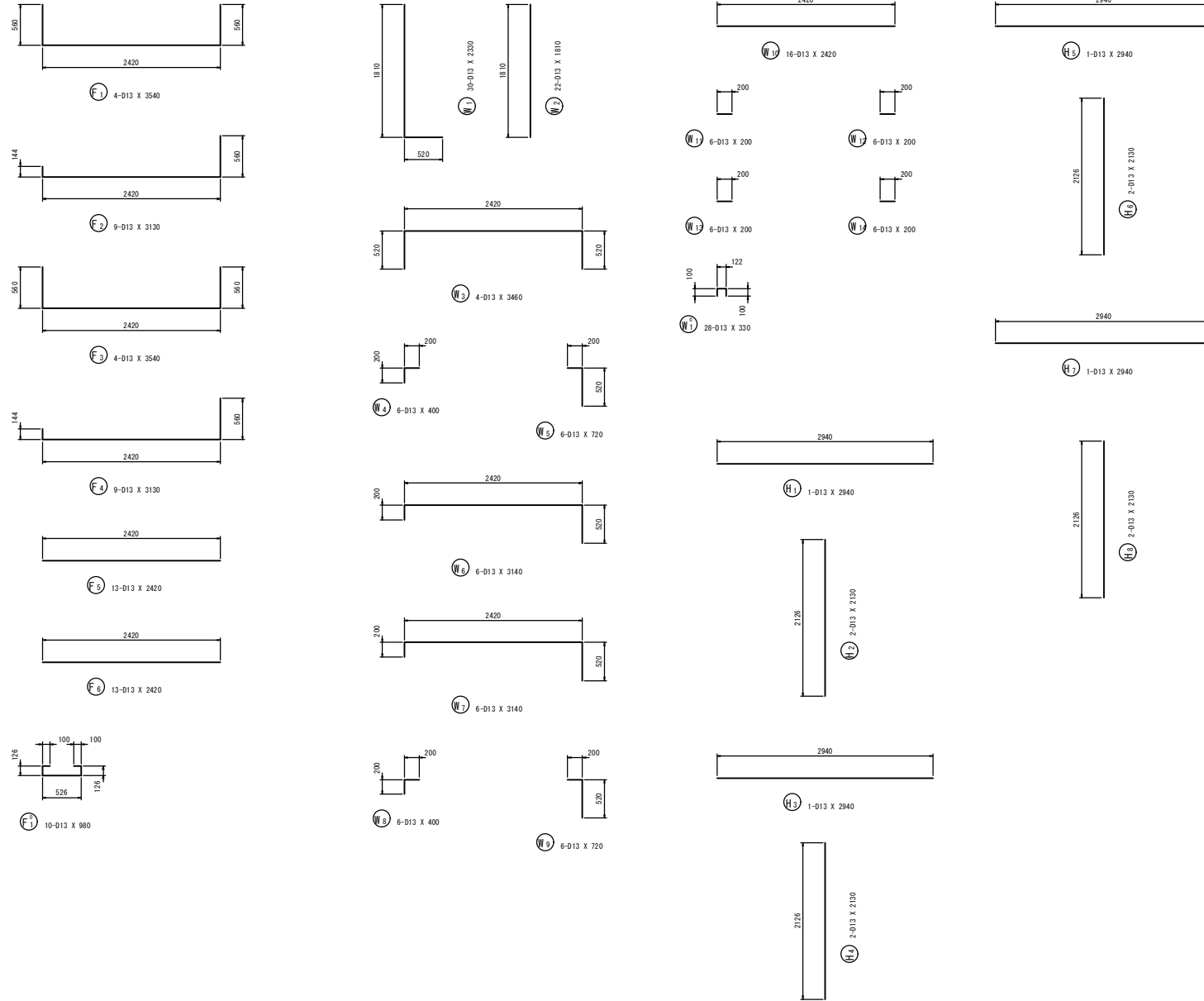
位置図



実施	令和 8 年度	図番	23 葉 10
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
No. 1031-E-1 (1No. 23+0.22) 集水桝配筋図(3)			
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	鶴岡市	

No. 1031-E-1 (1No. 23+0.22) 集水桝配筋図(4)

縮尺 A1 1:30  
A3 1:60



鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F 1	D13	3540	4	0.995	3.52	14	┌┐
F 2	D13	3130	9	0.995	3.11	28	┌┐
F 3	D13	3540	4	0.995	3.52	14	┌┐
F 4	D13	3130	9	0.995	3.11	28	┌┐
F 5	D13	2420	13	0.995	2.41	31	┌┐
F 6	D13	2420	13	0.995	2.41	31	┌┐
146 kg							
F 7	D13	980	10	0.995	0.98	10	┌┐
10 kg							
W 1	D13	2330	30	0.995	2.32	70	┌┐
W 2	D13	1810	22	0.995	1.80	40	┌┐
W 3	D13	3460	4	0.995	3.44	14	┌┐
W 4	D13	400	6	0.995	0.40	2	┌┐
W 5	D13	720	6	0.995	0.72	4	┌┐
W 6	D13	3140	6	0.995	3.12	19	┌┐
W 7	D13	3140	6	0.995	3.12	19	┌┐
W 8	D13	400	6	0.995	0.40	2	┌┐
W 9	D13	720	6	0.995	0.72	4	┌┐
W 10	D13	2420	16	0.995	2.41	39	┌┐
W 11	D13	200	6	0.995	0.20	1	┌┐
W 12	D13	200	6	0.995	0.20	1	┌┐
W 13	D13	200	6	0.995	0.20	1	┌┐
W 14	D13	200	6	0.995	0.20	1	┌┐
217 kg							
W 15	D13	330	28	0.995	0.33	9	┌┐
9 kg							
H 1	D13	2940	1	0.995	2.93	3	┌┐
H 2	D13	2130	2	0.995	2.12	4	┌┐
H 3	D13	2940	1	0.995	2.93	3	┌┐
H 4	D13	2130	2	0.995	2.12	4	┌┐
H 5	D13	2940	1	0.995	2.93	3	┌┐
H 6	D13	2130	2	0.995	2.12	4	┌┐
H 7	D13	2940	1	0.995	2.93	3	┌┐
H 8	D13	2130	2	0.995	2.12	4	┌┐
28 kg							
合計 D13				410 kg			
総質量				410 kg			

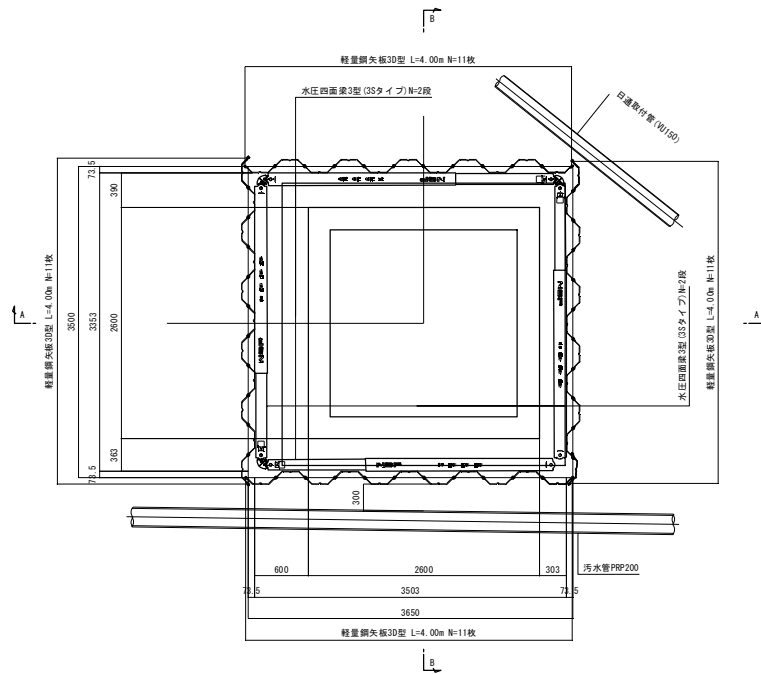
実施

令和 8 年度	図番	23 葉 11
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
No. 1031-E-1 (1No. 23+0.22) 集水桝配筋図(4)		
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)	鶴岡市

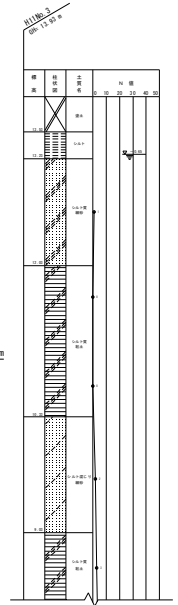
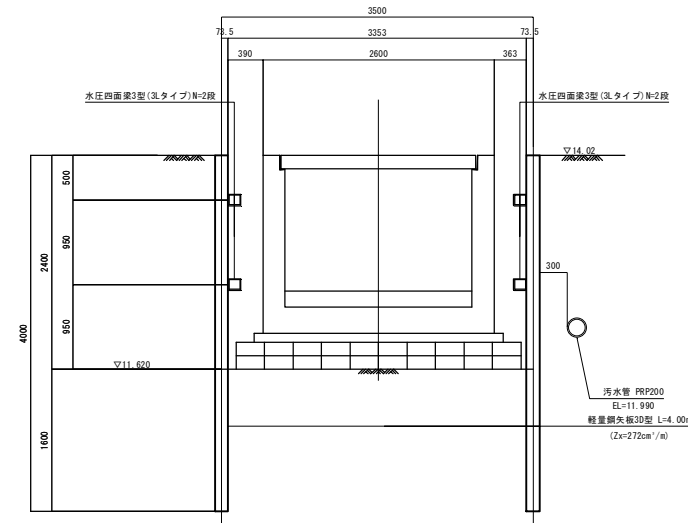
No. 1031-E-1 (1No. 33+0.22) 集水樹仮設土留め構造図

縮尺 A1 1:30  
A3 1:60

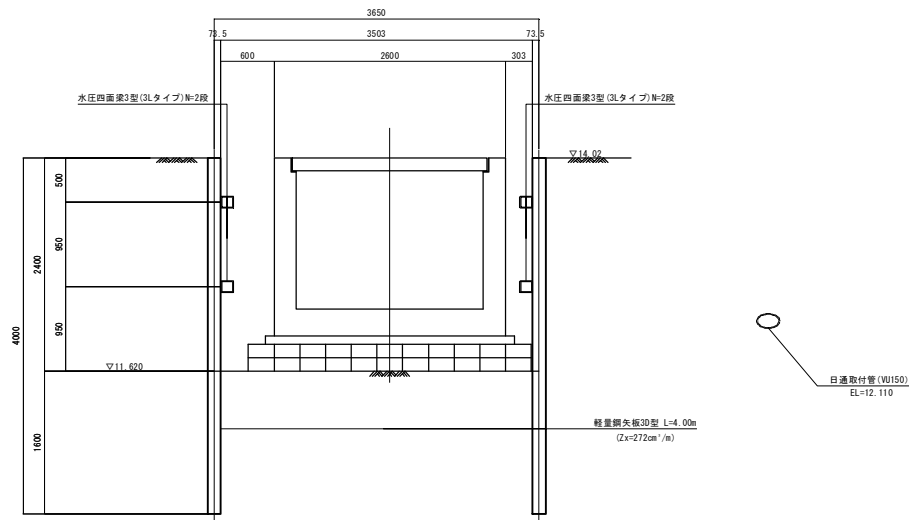
平面図



B-B 断面図



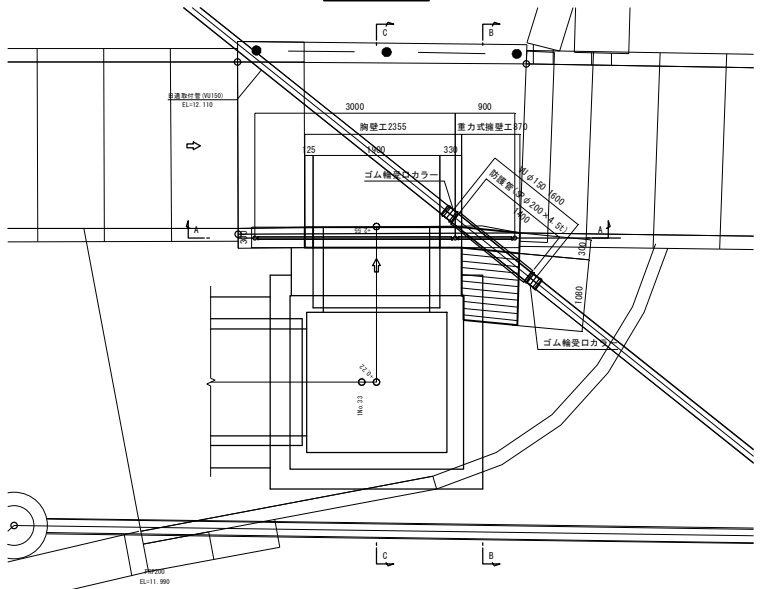
A-A 断面図



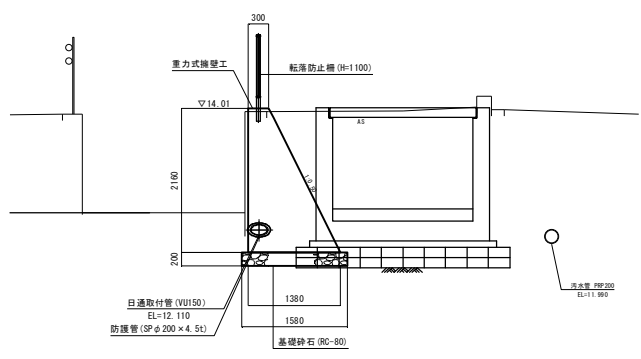
実施	令和 8 年度	図番	23 葉 12
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
No. 1031-E-1 (1No. 33+0.22) 集水樹 仮設土留め構造図			
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	鶴岡市	

既設1053路線接続工構造図 縮尺 1:40 (A1) 1:80 (A3)

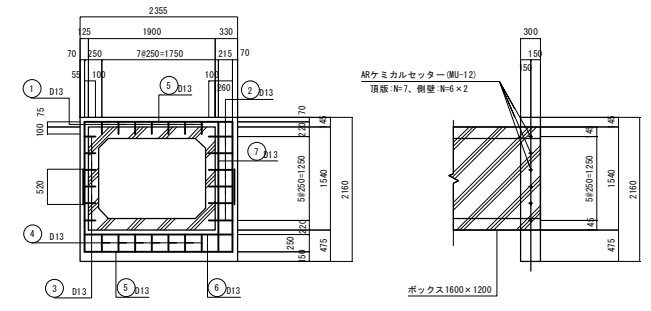
平面図



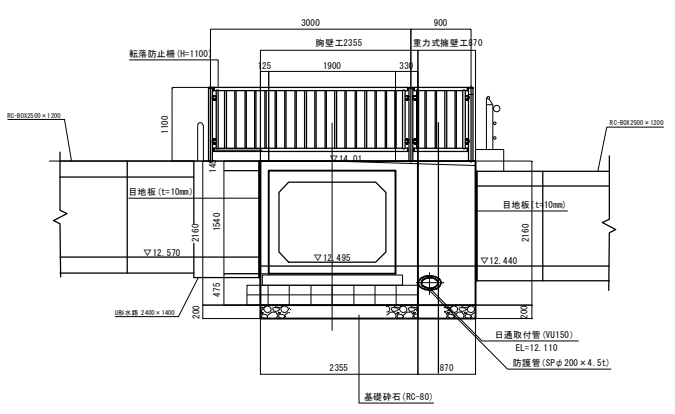
B-B 断面図



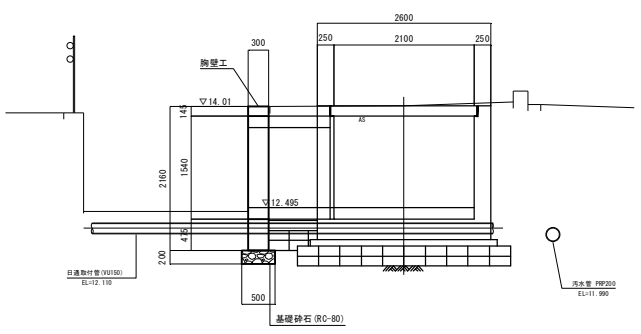
胸壁工配筋図



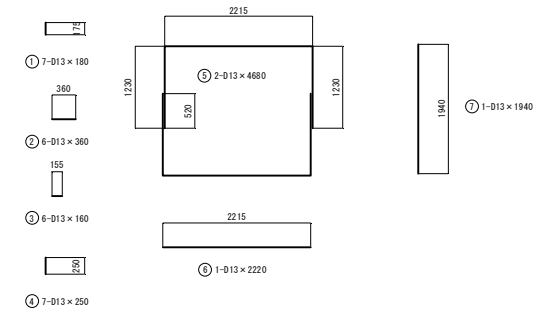
A-A 断面図



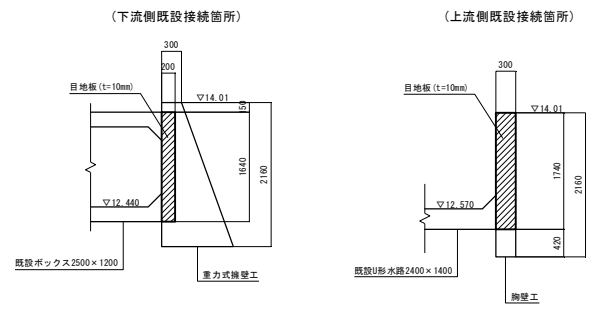
C-C 断面図



鉄筋加工図



目地部詳細図



鉄筋質量表

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	形状	備考
①	D13	180	7	0.995	0.179	1.3	┆	アンカー筋
②	D13	360	6	0.995	0.358	2.1	┆	アンカー筋
③	D13	160	6	0.995	0.159	1.0	┆	アンカー筋
④	D13	250	7	0.995	0.249	1.7	┆	
⑤	D13	4680	2	0.995	4.657	9.3	┆	
⑥	D13	2220	1	0.995	2.209	2.2	┆	
⑦	D13	1940	1	0.995	1.930	1.9	┆	
合計					D13	19.5 kg		
総質量						19.5 kg		

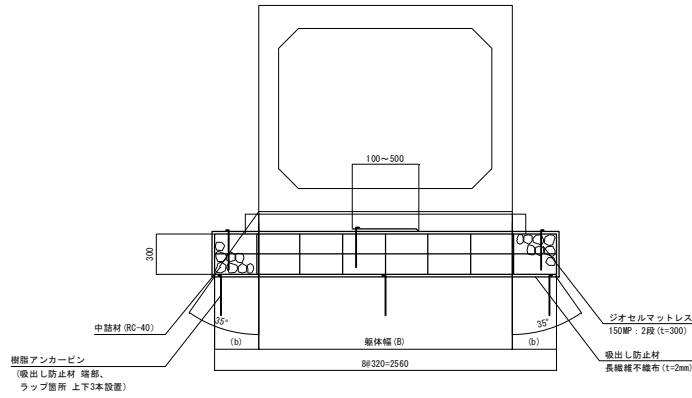
実施

令和 8 年度	図番	23 葉 13
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
既設1053路線接続工構造図		
縮尺	1:40 (A1) 1:80 (A3)	鶴岡市

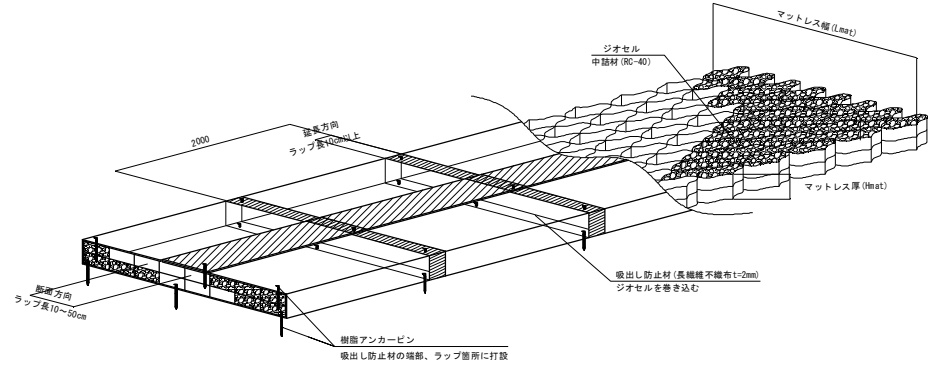
# ジオセルマットレス基礎工標準構造図(3)

縮尺 Free

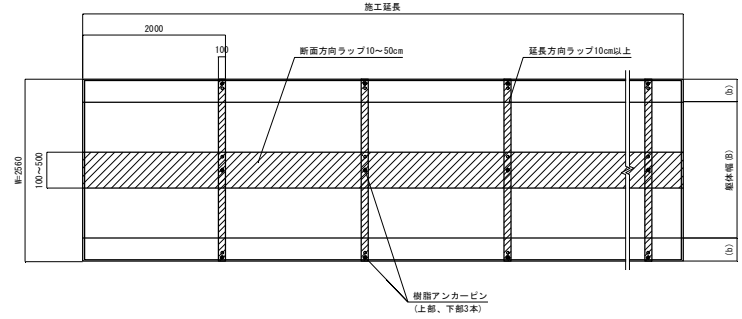
標準断面図



工法概要図



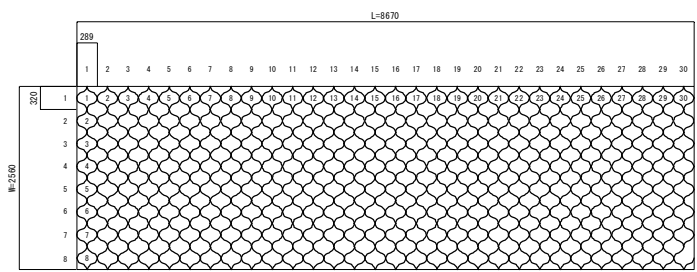
吸出し防止材敷設図



マットレス寸法表

呼び名 (mm×mm)	躯体幅 (B) (mm)	弾出幅 (b) (mm)	セルタイプ	セル高 (mm)	段数 (段)	Hmat (mm)	セル巾 (mm)	セル数 (mm)	Lmat (mm)	吸出し防止材 (mm)
BOX (1400×800)	1660	450	150MP	150	2	300	320	8	2560	6220
BOX (1500×1000)	1780	390	150MP	150	2	300	320	8	2560	6220
BOX (1500×1200)	1780	390	150MP	150	2	300	320	8	2560	6220
BOX (1800×1200)	1900	330	150MP	150	2	300	320	8	2560	6220

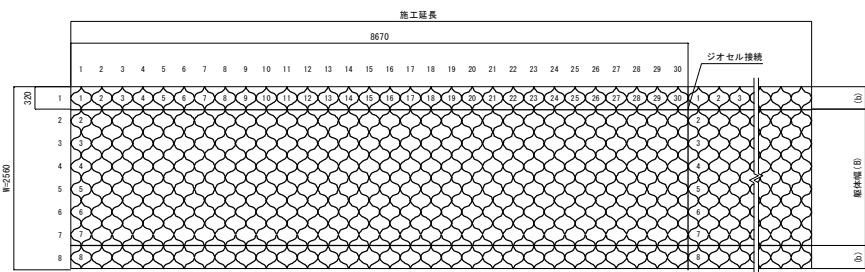
ジオセル規格図



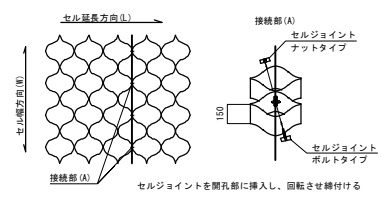
製品仕様表

セルタイプ	セル寸法	形式	展開寸法 (H×W×L)	セル数	展開面積
Mタイプ	320mm×280mm	150MP	150mm×250mm×8670mm	8×30 (横×縦)	22.19㎡ (1枚当り)

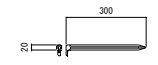
ジオセル敷設図



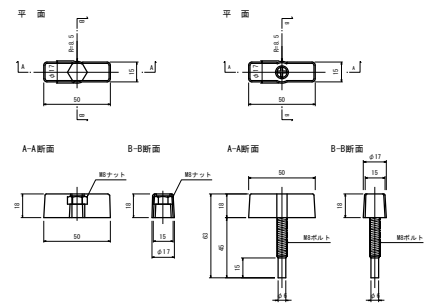
ジオセル接続図



樹脂アンカーピン



セル接合材



特記事項	NETIS: Q9-140016-0R
施工要領	-適切な排水処理を施すこと -不締固め、漏れ防止を要すること
安全管理	-安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに準拠すること
基礎材料	-砕石、砕石等を使用すること -締固めは、最大取締固め率の90%以上を満足すること
基礎性質	-設計条件との違いがみられる場合は、再度調査を行い 設計の異変しなど適切な処置を行うこと
ジオセル	-製品は建築物大規模などで行い性能を劣化させているものとする -シートと砕石の中間部は角部を埋め戻している製品とする -深層部と浅層部の締固め強度を有する

実施

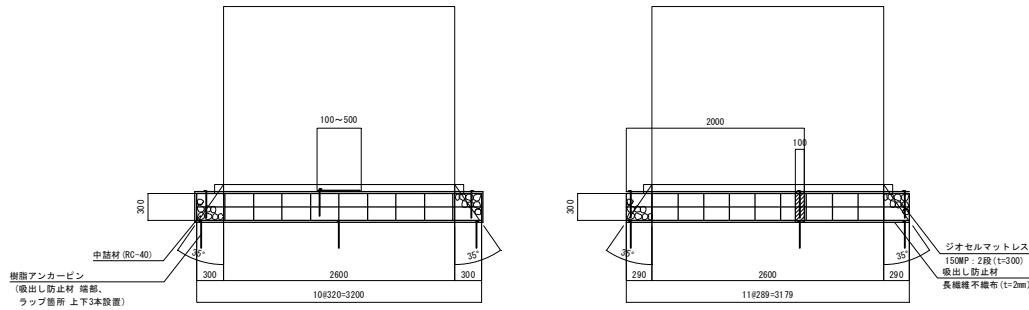
令和 8 年度	図番	23 葉 14
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
ジオセルマットレス基礎標準構造図(3)		
縮尺	Free	鶴岡市

# ジオセルマットレス基礎工構造図(5)

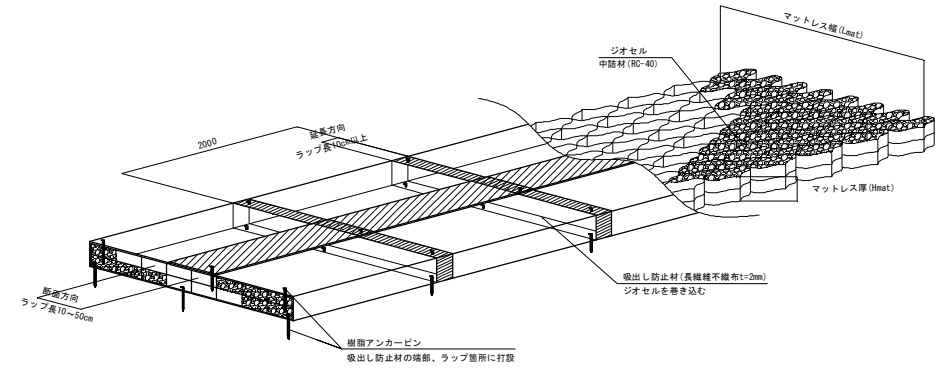
縮尺 1/100

No. 1031-E-1 (No. 33+0.22) 集水樹

標準断面図

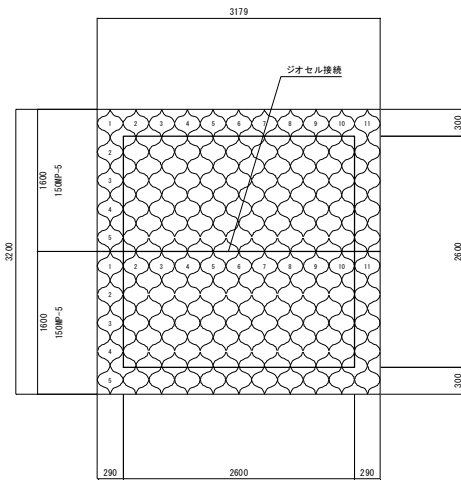


工法概要図 縮尺 Free

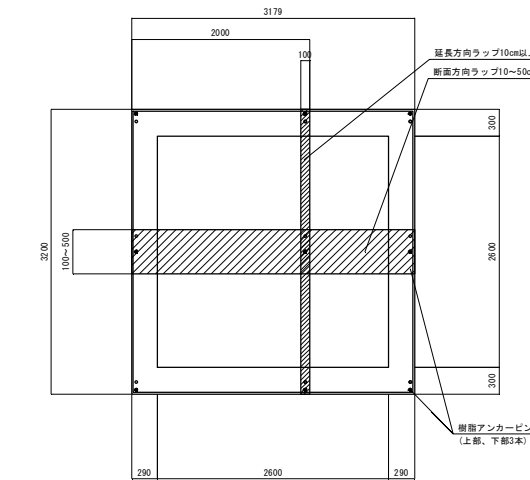


呼び名	基礎幅	セルタイプ	セル高	段数	Heat	セル巾	セル数	Lmat	吸出し防止材
No. 1031-E-1 (No. 33+0.22)	2,600 × 2,500	150MP	150	2	300	320	18 × 11	2,600 × 2,179	1,300

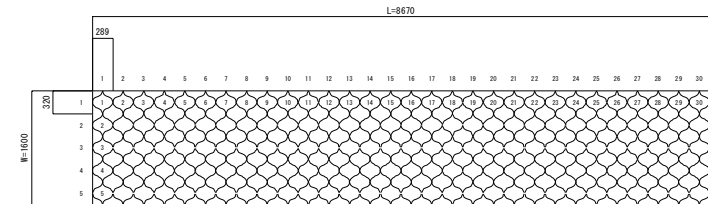
ジオセル敷設図



吸出し防止材敷設図

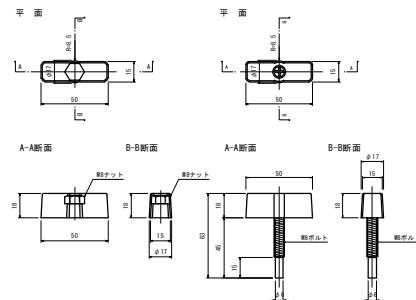


ジオセル規格図 縮尺 Free

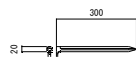


セルタイプ	セル寸法	形式	展開寸法 (H×W×L)	セル数	展開面積
Mタイプ	320mm × 289mm	150MP-5	150mm × 1,600mm × 8,670mm	5 × 30 (横 × 縦)	13.87㎡ (1枚当り)

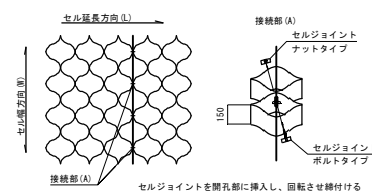
セル接合材 縮尺 Free



樹脂アンカーピン 縮尺 Free



ジオセル接続図 縮尺 Free



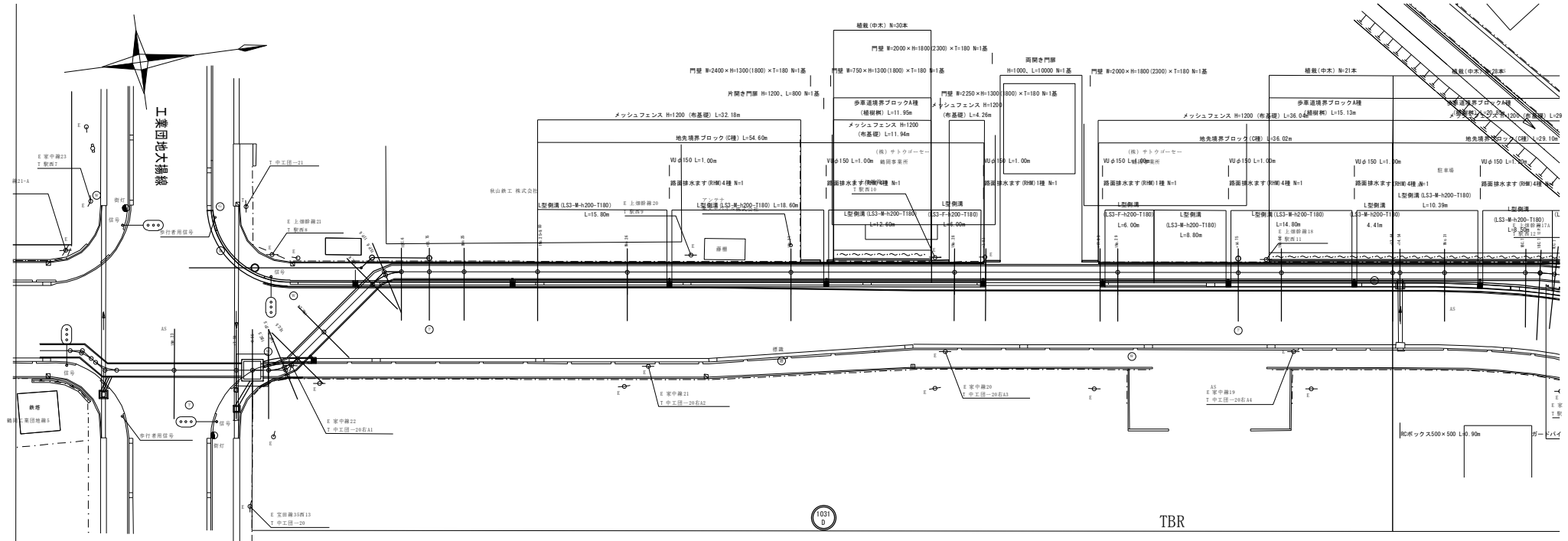
実施  
令和 8 年度 図番 23 葉 15

事業名	鶴岡市公共下水道事業
工事名	雨水連形第1-1幹線1031号新設工事
位置	鶴岡市宝田一丁目地内
ジオセルマットレス基礎構造図(5)	
縮尺	図示
図示	鶴岡市

特記事項	NETIS 05-16005-0R
施工要領	-適切な排水処理を確保すること -不備箇所は、直ちに修正を要すること
安全管理	-安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに準拠すること
基礎材料	-設計、検査報告を参照すること -締結は、最大締結強度の90%以上を確保すること
基礎設置	-設計条件との違いがある場合は、再度調査を行い 設計の見直しなど適切な処置を行うこと
ジオセル	-製品は異物大顆粒など有害な物を含まれていないものとする -シートと締結ピン間の摩擦係数を確認している製品とする -凍結強度と同等以上の締結強度を有する

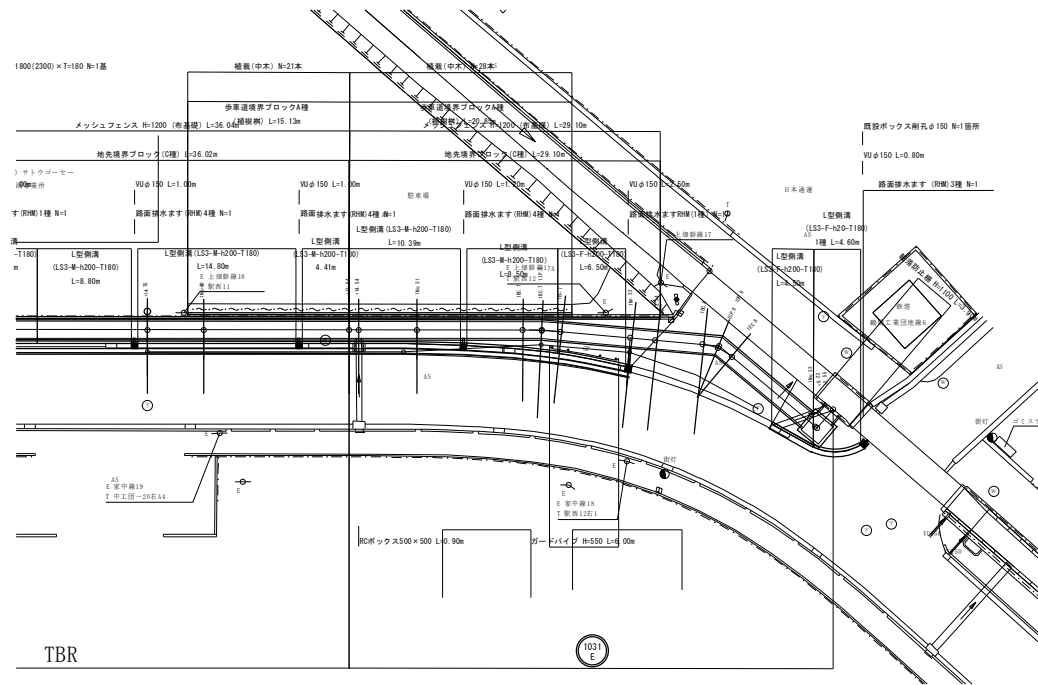
付帯工計画平面図(3)

縮尺 A1 1:250  
A3 1:500



031  
D

TBR



TBR

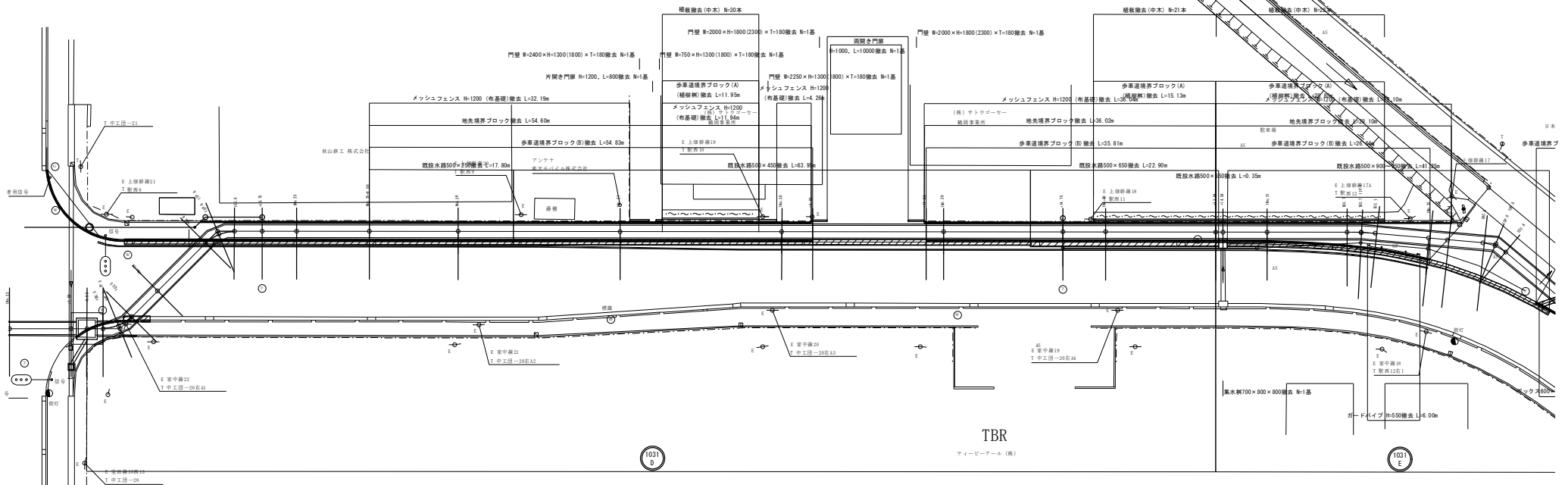
103  
E

注記1: L型側溝の施工にあたっては、現地道路状況に配慮し勾配を確保すること。  
注記2: 門扉、門錠等の復旧にあたっては(株)サトウゴウセーと協議を行うこと。

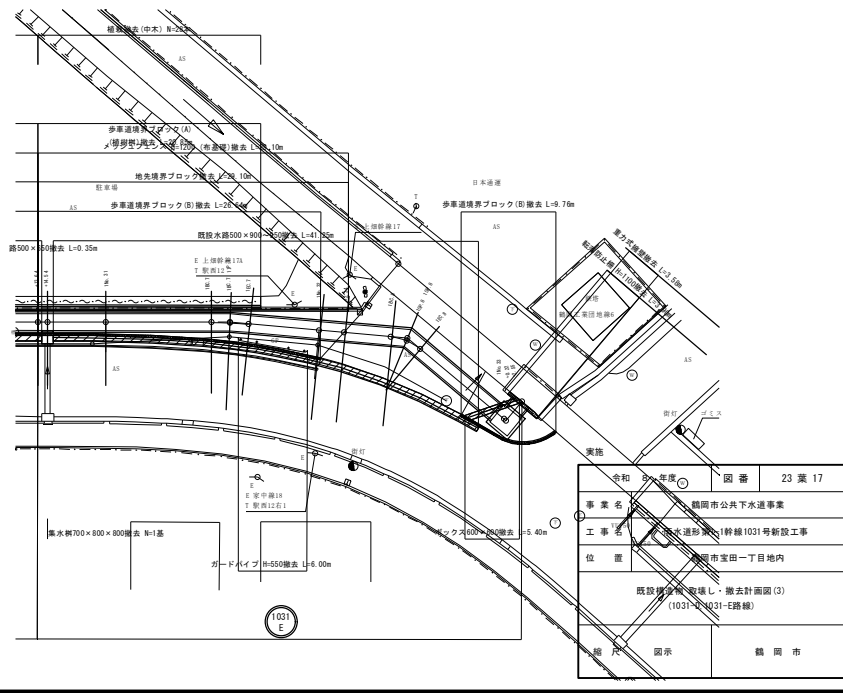
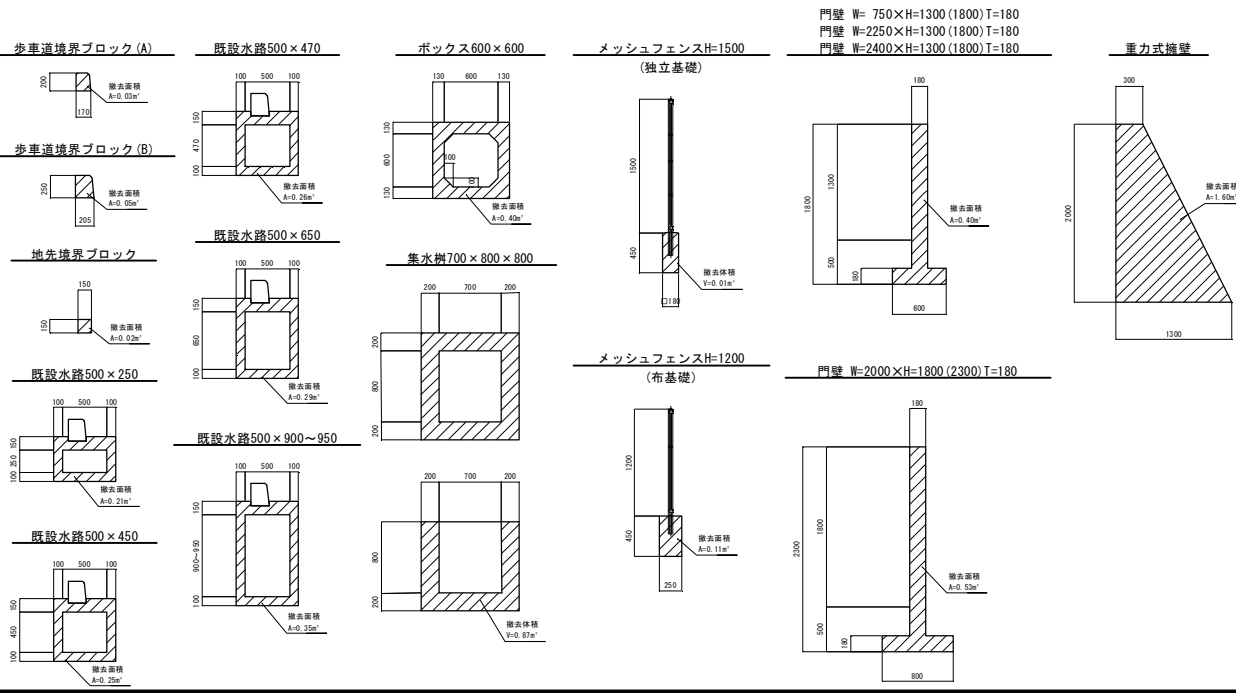
令和 8 年度		図番	23 葉 16
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
付帯工計画平面図(3) (1031-D, 1031-E路線)			
縮尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	鶴岡市	

既設構造物 取壊し・撤去計画図(3)

平面図 A1 1:250 縮尺 1:500



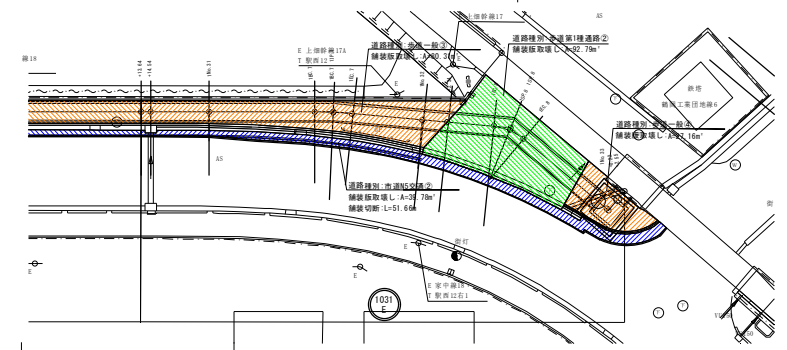
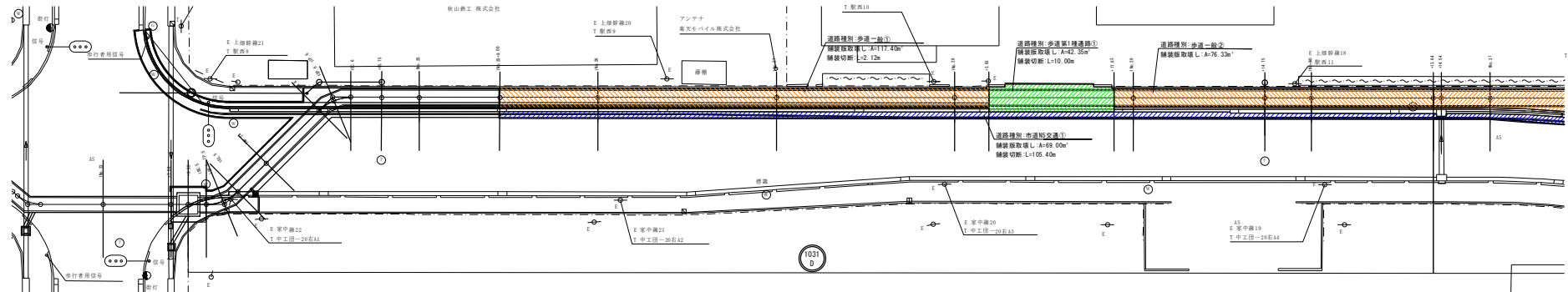
既設構造物撤去断面図 A1 1:30 縮尺 1:50



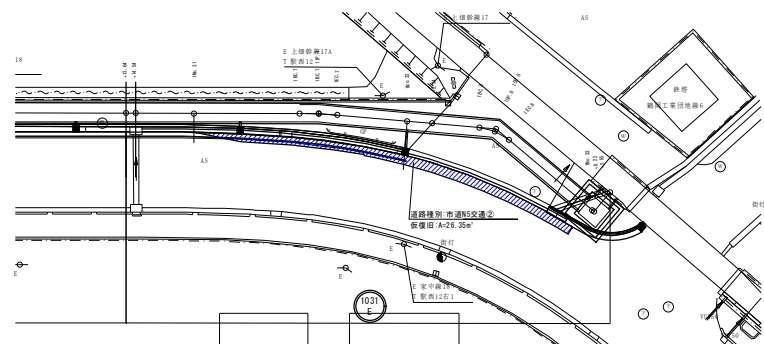
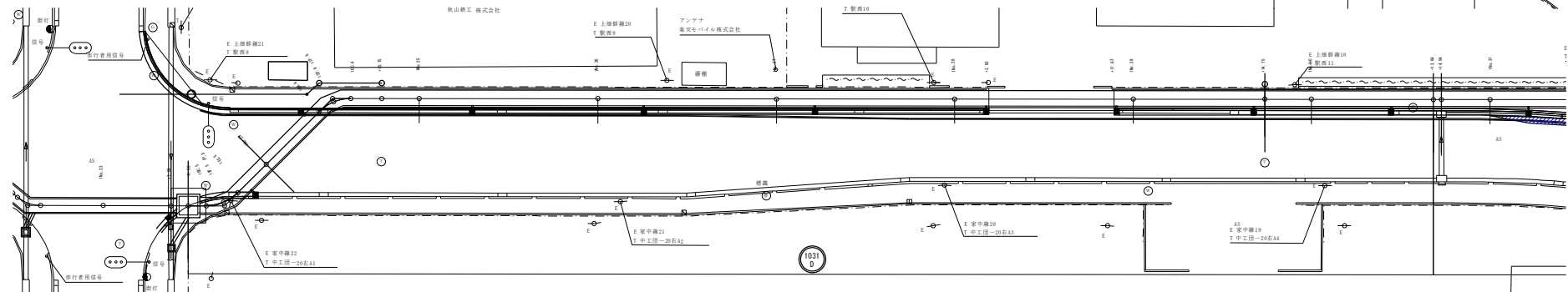
令和 年度	図番	23 業 17
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	下水道排水幹線1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
既設構造物取壊し・撤去計画図(3)		
(1031)031-E路線		
設計	図示	鶴岡市

舗装撤去・復旧計画平面図(5) 縮尺 1:250

舗装撤去(掘削時)



舗装復旧(仮復旧時)

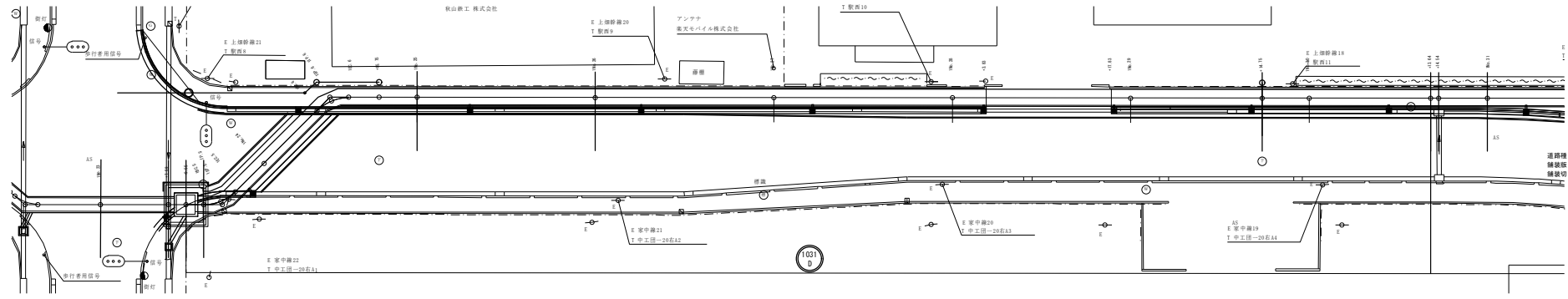


実施

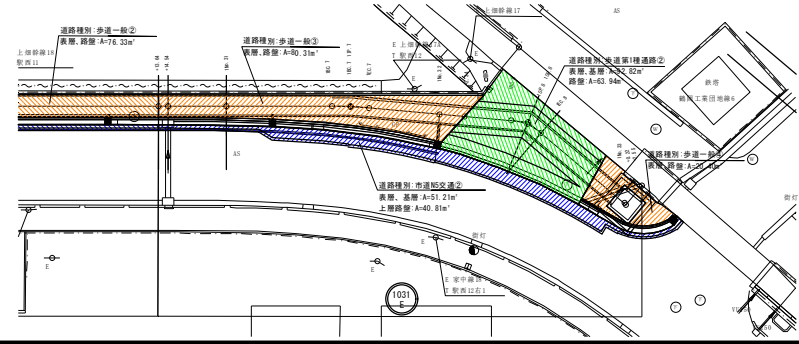
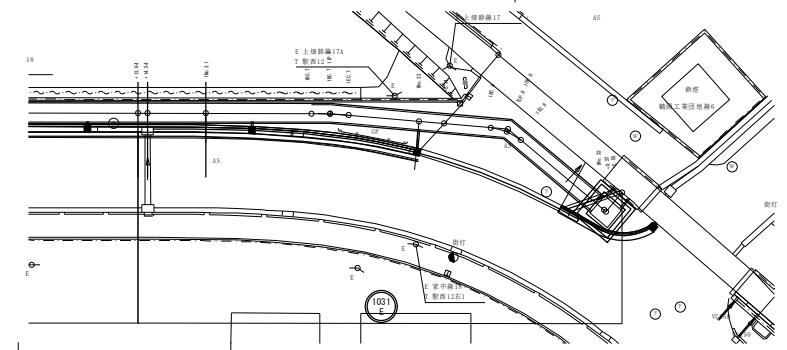
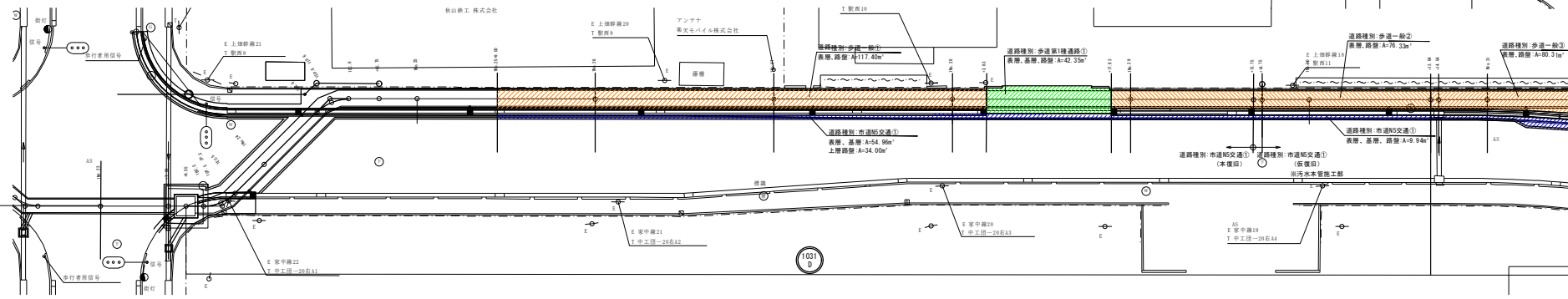
令和 8 年度	図番	23 葉 18
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
舗装撤去・復旧計画平面図(5) (1031-D, 1031-E路線)		
縮尺	1:250 (A1) 1:500 (A3)	鶴岡市

舗装撤去・復旧計画平面図(6) 縮尺 1:250(A1)

舗装撤去(本復旧時)



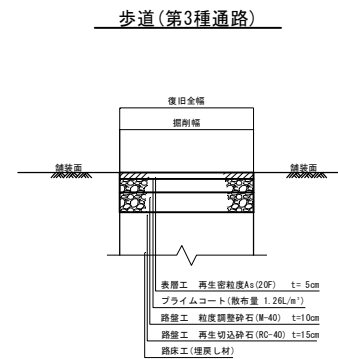
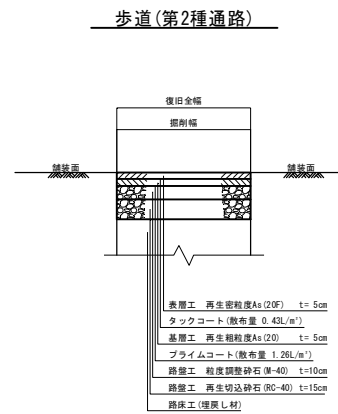
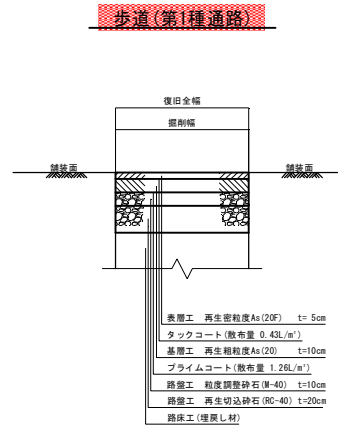
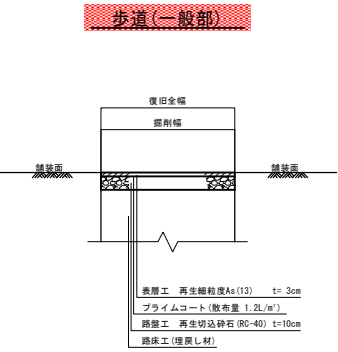
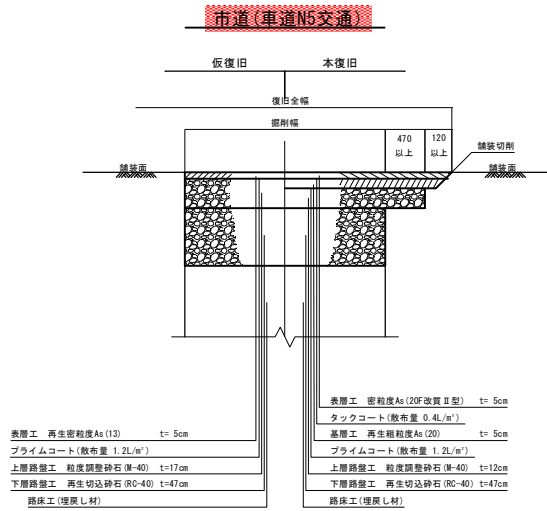
舗装復旧(本復旧時)



実施	令和 8 年度	図番	23 葉 19
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
舗装撤去・復旧計画平面図(6) (1031-D, 1031-E路線)			
縮尺	1:250(A1) 1:500(A3)	鶴岡市	

舗装復旧標準断面図

縮尺 A1 1:20  
A3 1:40



実施

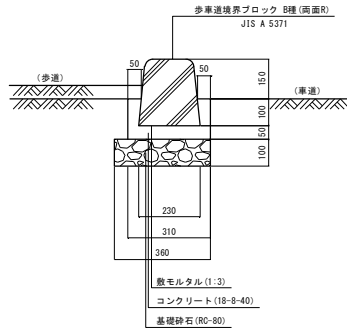
令和 8 年度	図番	23 業 20
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
舗装復旧標準断面図		
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)	鶴岡市

付帯構造物標準図(1)

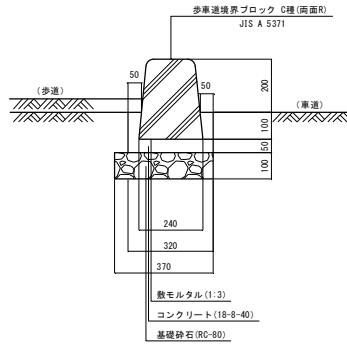
縮尺 A1 1:10  
A3 1:20

歩車道境界工

HB-F(1種)



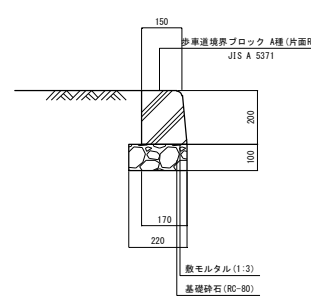
HB-F(2種)



歩車道境界ブロック

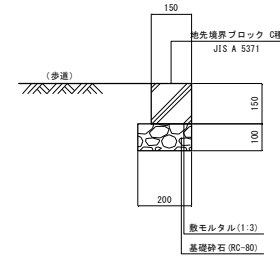
(植樹樹)

A種



地先境界ブロック

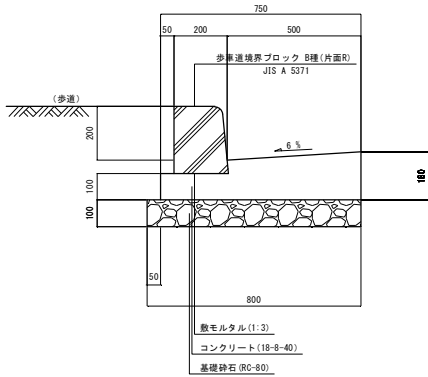
C種



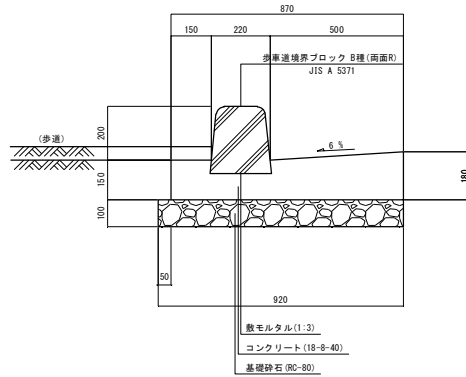
L型側溝

(組合せ)

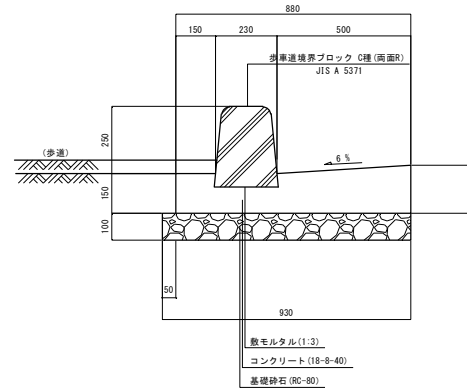
LS3-M-h200-T180



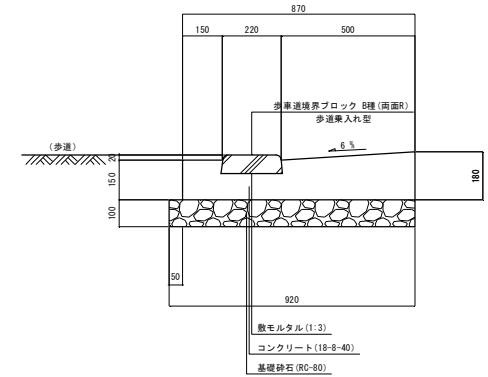
LS3-F-h200-T180



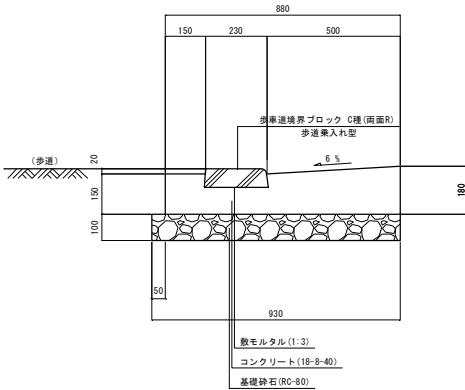
LS3-F-h250-T180



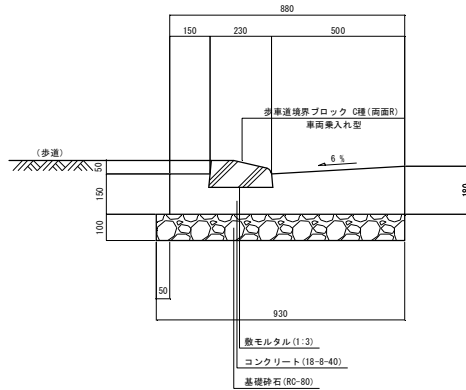
LS3-F-h20-T180(1種)



LS3-F-h20-T180(2種)



LS3-F-h50-T180

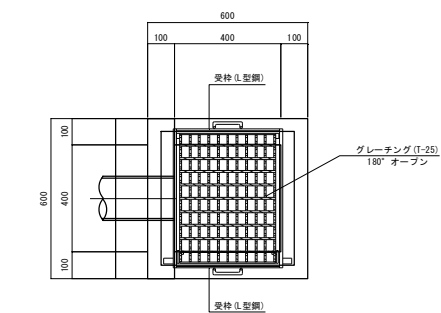


実施	令和 8 年度	図 番	23 策 21
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
付帯構造物標準図(1)			
縮尺	1:10(A1) 1:20(A3)	鶴岡市	

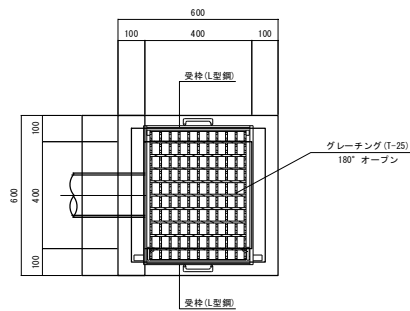
付帯構造物標準図(2) 縮尺 A1 1:10 A3 1:20

路面排水樹 (RHM)

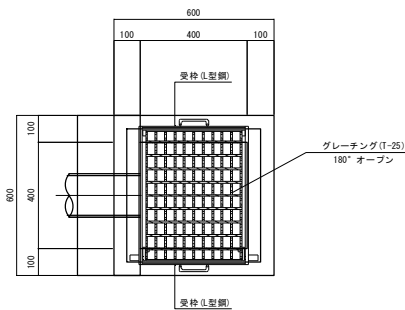
RHM (1種)



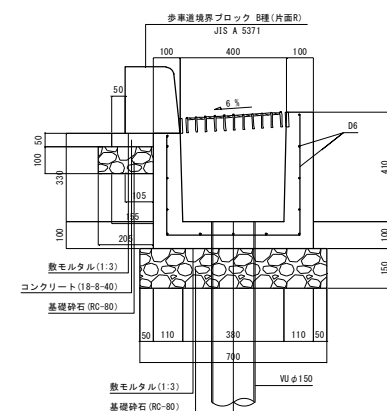
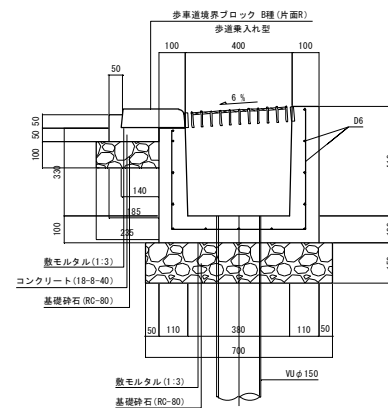
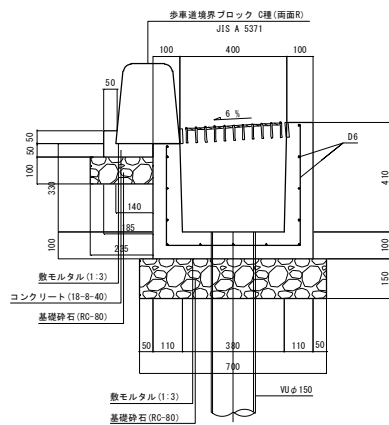
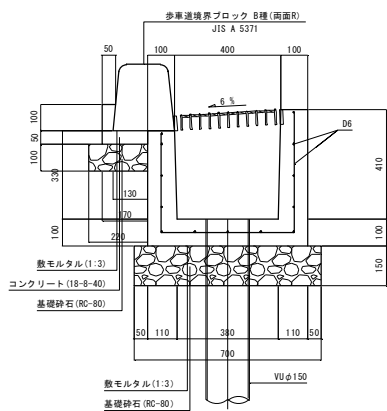
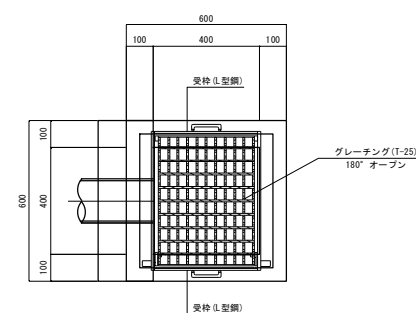
RHM (2種)



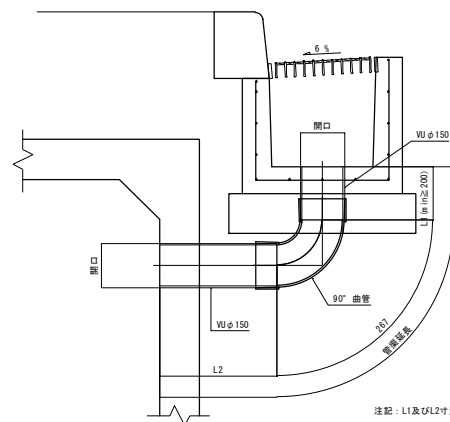
RHM (3種)



RHM (4種)



管渠 (VUφ150)

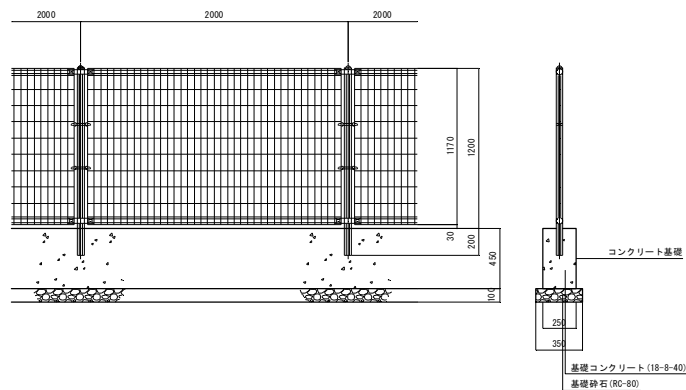


注記: L1及びL2寸法は現場合わせとし、管渠延長については90°曲管を含む。

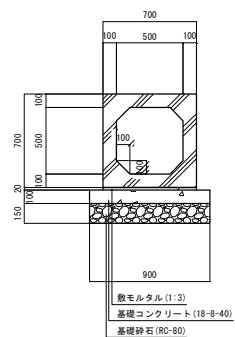
実施	令和 8 年度	図番	23 業 22
事業名	鶴岡市公共下水道事業		
工事名	雨水道形第1-1幹線1031号新設工事		
位置	鶴岡市宝田一丁目地内		
付帯構造物標準図(2)			
縮尺	1:10 (A1)	鶴岡市	
	1:20 (A3)		

付帯構造物標準図(3) 縮尺 A1 1:20 A3 1:40

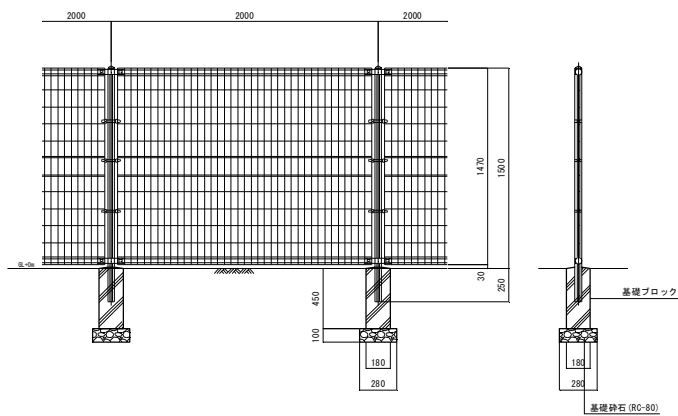
メッシュフェンス H=1200  
(布基礎)



RCボックス500×500



メッシュフェンス H=1500  
(独立基礎)



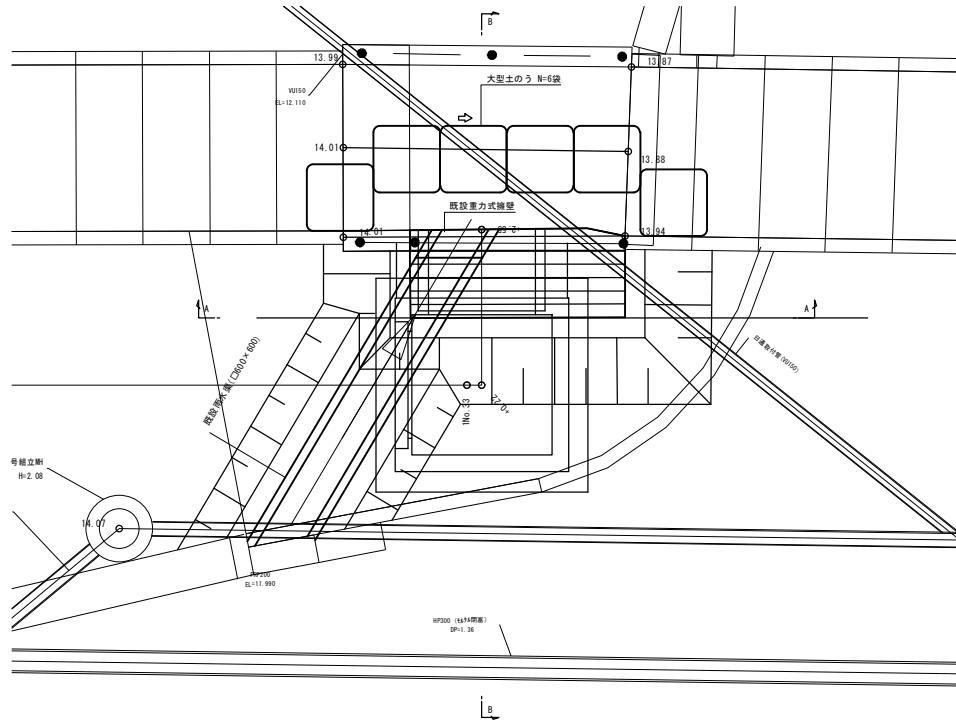
実施

令和 8 年度	図 番	23 業 23
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
付帯構造物標準図(3)		
縮尺	1:20(A1) 1:40(A3)	鶴岡市

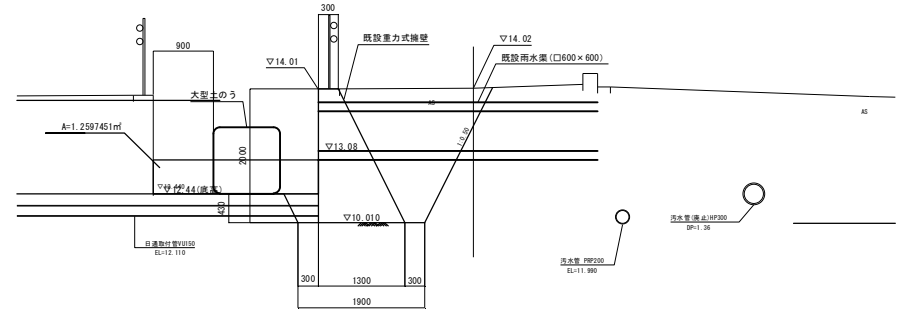
既設1053路線接続工(1) 縮尺 1:80

(施工手順①重力式擁壁の撤去まで)

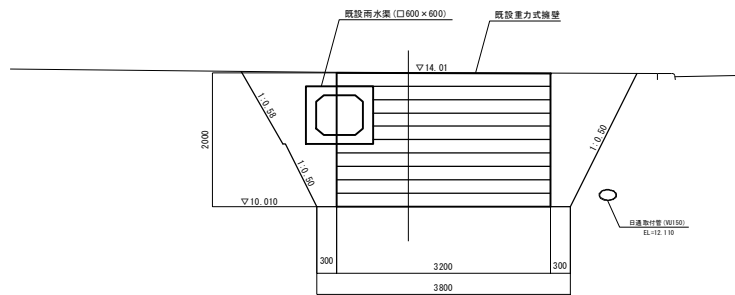
平面図



B-B 断面図



A-A 断面図



- ①-1 擁壁および日通取付管の試掘調査(兼、掘削時の地下水位状況の確認)
- ①-2 既設雨水渠・600×600撤去
- ①-3 大型土のう設置(既設水路仮締切)
- ①-4 素掘りで擁壁下端まで掘削
- ①-5 重力式擁壁、転落防止柵の撤去

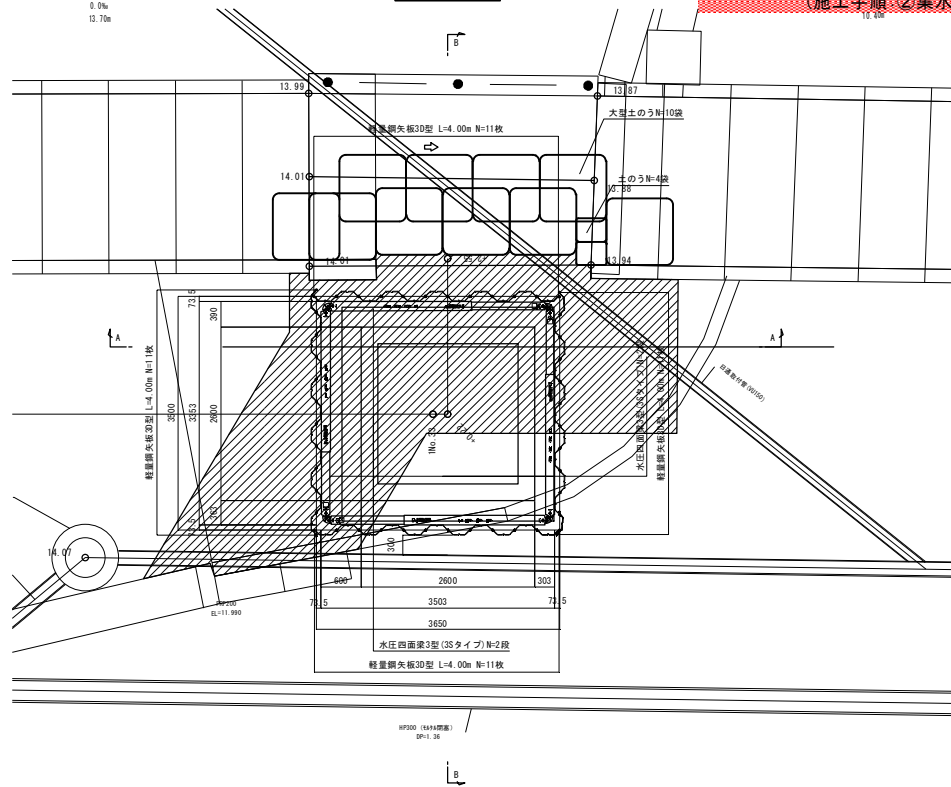
(参考図)

令和 8 年度	図番	3 葉 1
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
既設1053路線接続工(1) 施工手順①		
縮尺	1:40(A1) 1:80(A3)	鶴岡市

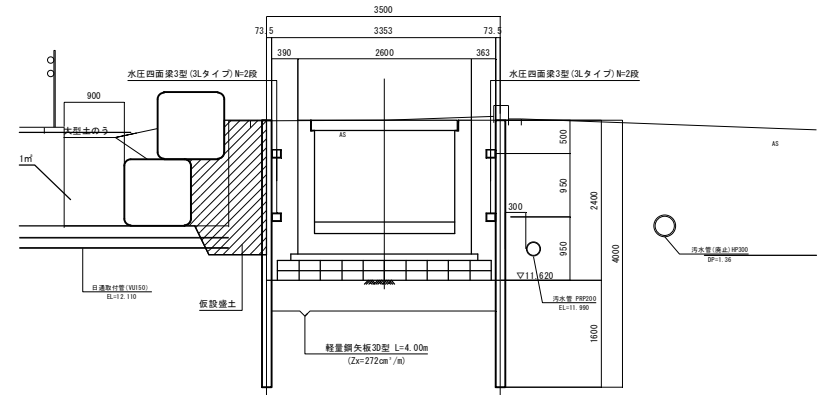
既設1053路線接続工(2) 縮尺 1:40

(施工手順②集水樹築造まで)

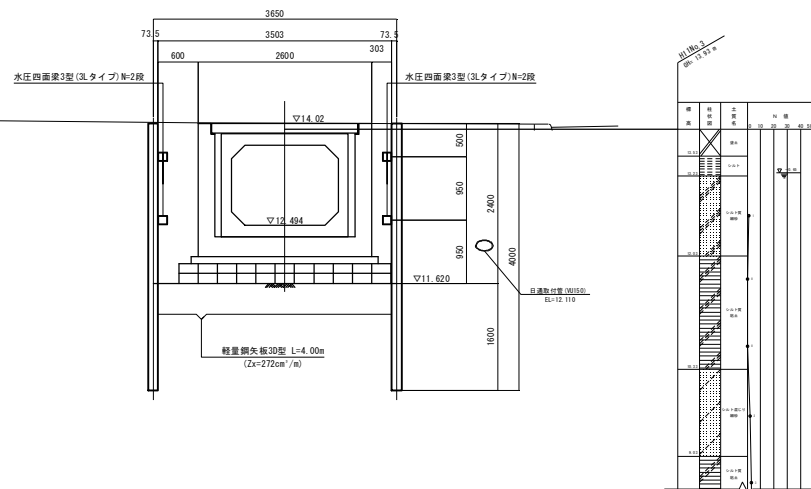
平面図



B-B 断面図



A-A 断面図



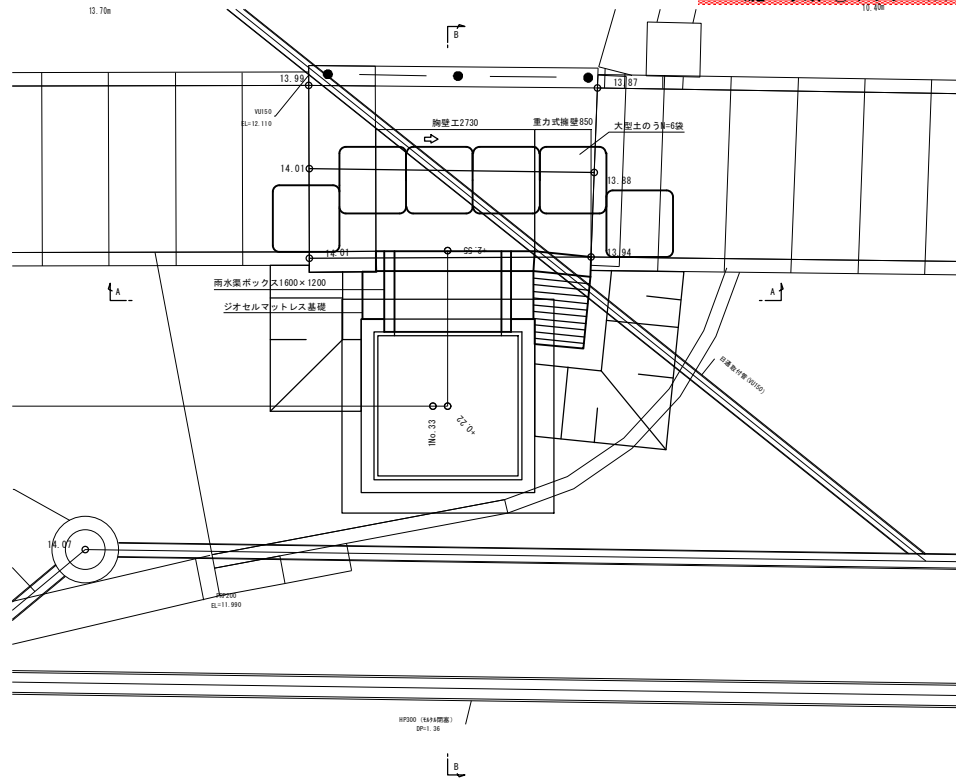
- ②-1 手順①で設置した大型土のうの上にもう一段大型土のうで嵩上げ  
 6Lまで埋戻しと盛土を行い、施工ヤードを造成
- ②-2 軽量鋼矢板を打設(計算結果から、30型 L=4.00m)
- ②-3 矢板締切内の掘削、支保工(水圧四面梁)の設置
- ②-4 集水樹基礎工(ジオセル)
- ②-5 集水樹の築造
- ②-6 埋戻し・支保工撤去
- ②-7 軽量鋼矢板引抜き

(参考図)

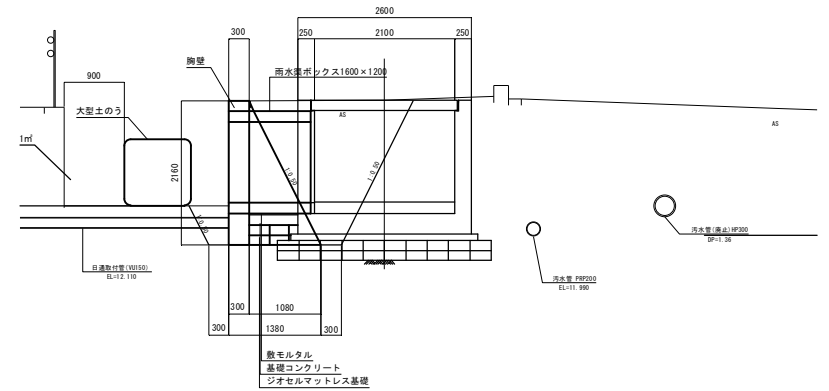
令和 8 年度	図番	3 葉 2
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水通形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
既設1053路線接続工(2) 施工手順②		
縮尺	1:40(A1) 1:80(A3)	鶴岡市

既設1053路線接続工(3) 縮尺 1:40  
 (施工手順③ボックスカルバートの敷設まで)

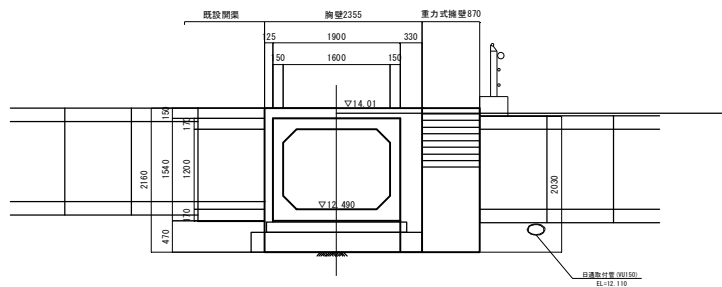
平面図



B-B 断面図



A-A 断面図



- ③-1 施工ヤードの撤去(大型土のう上一段撤去、ボックスカルバート敷設、擁壁復旧部の掘削)
- ③-2 ボックス基礎(ジオセル)、ボックス据付
- ③-3 ボックス吐け口側擁壁、重力式擁壁復旧
- ③-4 埋戻し、大型土のう撤去および転落防止柵の復旧

(参考図)

令和 8 年度	図番	3 業 3
事業名	鶴岡市公共下水道事業	
工事名	雨水連形第1-1幹線1031号新設工事	
位置	鶴岡市宝田一丁目地内	
既設1053路線接続工(3) 施工手順③		
縮尺	1:40(A1) 1:80(A3)	鶴岡市

# 鶴岡市下水道部雨水事務室

## 土木工事特記仕様書

### 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

---

#### 1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書(土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料)令和8年4月」にもとづき実施しなければならない。

仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。

なお、令和8年4月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

(<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書(土木工事)

#### 2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

## 第1編 共通編

### 第1章 総則

#### ~~1-1. 余裕期間制度~~

#### 1-2. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という)の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

#### 1-3. 工事種別

工事種別は、一般土木工事とする。

#### 1-4. 工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

#### 1-5. 技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。

2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

#### ~~1-6. 舗装技術者の配置~~

#### ~~1-7. 鋼橋塗装技能士の配置~~

#### 1-8. 標準断面での発注

標準断面で発注された工事は現況を測量し、側溝(水路)縦断計画及び舗装面積の展開図等の施工図を作成し、監督職員と協議の上、承諾を得ること。監督職員の承諾を得る前に、工事着工している場合は、工事の一時中止及び改造を命じる場合もありうる。なお、承諾の回答には、発注者側での検討があるため、1週間程度見込むこと。

また、計画時には路面排水を考慮するとともに、上下流の側溝勾配等を必ず調査し、流入、流出先の排水路等も調査すること。

#### 1-9. 設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集(令和7年2月改訂)山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

#### 1-10. 揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

#### 1-11. 沿線住民への周知

工事着工前に施工個所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関(幼稚園、保育園、デイサービス等)に通知すること。

## 1-12. 官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了解を得て側溝を設置し境界杭(境界プレート)等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

## 1-13. 工事支障物件について

### 1. 地下埋設物等

- (1) 現況測量時に周囲の状況(電力、NTTなどの架空電線)を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。
- (2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。
- (3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。

2. 施工にともなって支障となる物件(公共汚水桝、量水器など)が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

## 1-14. 工事現場発生品(工事現場再使用品)

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

## 1-15. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

### 【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

### 【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

### 【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00~17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00~17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00~17:00

	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	(株)青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	(株)渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
○	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	(株)安藤組	8:00～17:00

3. 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
4. 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材(コンクリート、アスファルト、木材)廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
5. 受注者は、建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、砕石等)を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
6. 受注者は、建設副産物(コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等)を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
7. 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
8. 土木共通特記仕様書第1編共通編1-1-11建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)作成は、「コブリス・プラス」((一財)日本建設情報総合センター(JACIC)Web版入力システム)により行う。なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分(技術管理費)に含まれている。
9. 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車輛に「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

#### 1-16. 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1,000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)により監督職員に提出しなければならない。

#### 1-17. 前金払について

##### 1. 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書(鶴岡市、様式第10号の2)に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)の写しを添えて提出するものとする。

##### 2. 債務負担行為工事の前払金請求

~~本工事は令和8年度に渡り債務を負担する予算であるため、令和7年度内は前払金を請求することができないものとする。よって、本工事の前払金の請求及び支払は令和8年4月1日以降とする。~~

#### 1-18. 工事名標示板に関する事項(安全確保関係)

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	(例)雨水排水路工事中
工事内容の説明	(例)雨水を流す大きな水路をつくっています

#### 1-19. 交通安全に関する事項(交通安全管理関係)

##### 1. 施工方法

本工事の施工にあたっては、片側交互通行により施工するものとする。

##### 2. 交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。なお、交通管理者との協議により配置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員 190 名を計上している。

#### 1-20. 事業損失に関する事項(環境対策関係)

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

#### 1-21. 他工事との関連事項について(工程関係)

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

## 1-22. 施工時期、時間、施工方法に関する事項(工程関係)

1. 本工事の作業時間帯は、8:30～17:00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。
2. 工期には雨休率0.83※を見込んでいる。  
※施工に必要な日数に対し、土日・祝日・年末年始休暇(6日)夏季休暇(3日)を休日とした日数及び天候による作業不能日(1日の降雨・降雪量10mm/日以上及び8時～17時までのWGBT値31以上の時間を合計して換算した日数(過去5年平均))を見込むための係数

## 1-23. 災害時の協力体制

### 1. 緊急巡回

- (1) 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
- (2) 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。
- (3) 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- (4) 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

### 2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

## 1-24. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書(山形県、参考様式5)を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に係る「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。
3. 工事事故報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

- 県政情報
- 山形県の紹介
- 組織案内
- 県土整備部
- 建設企画課
- 共通仕様書(土木工事)

## 1-25. 工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。
2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

## 1-26. デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下「対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

### 1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下「使用機器」という)については、共通仕様書 写真管理基準「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL:<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>)

に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」

(URL:[https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html))

を参照とすること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

### 2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黑板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書 写真管理基準「2-2 撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

### 3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書 写真管理基準(デジタル写真管理情報基準)に準ずるが、前項に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-4 写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

## 1-27. 1日未満で完了する作業の積算

1. 「1日未満で完了する作業の積算」(以下「1日未満積算基準」という。)は、変更積算のみに適用する。

2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。
3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料(日報、実際に費用がわかる資料等)を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料(見積書、契約書、請求書等)により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
5. 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
6. 1日未満積算基準「3. 判定方法 (3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1-19 施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

#### 1-28. 労働者確保に関する積算方法の試行工事

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について(以下「実績変更対象間接費」という)、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書(山形県県土整備部)の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費

(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)

労働管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(土木工事標準積算基準書に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。

- (1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費

(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合:9.45%

- (2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費

(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合:1.22%

3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。
6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加

資格制限等の措置を行う場合がある。

7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

#### 1-29. 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

#### 1-30. 建設現場における遠隔臨場について

##### 1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

ただし通信環境が整わない現場や工種によって不十分、非効率になってしまう恐れのある場合は、この限りではない。

##### 2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

##### 3. 実施内容

###### (1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものである。

###### (2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するものとする。

###### (3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

###### (4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

###### (5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

(6) 不正行為

遠隔現場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分等の基準』等に従い、監督処分を実施する場合があります。

1-31. 週休2日確保工事について

●発注者指定型の場合

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 発注者は、当初(発注)時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休2日(土日)を達成した場合、完全週休2日(土日)の補正係数に変更するものとする。なお、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
3. 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日(土日)の現場閉所を達成した場合、主任(監理)技術者に対して「週休2日確保工事实施証明書」を発行するものとする。
4. 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日(土日)の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。

●発注者指定型(交替制)の場合

1. 本工事は発注者指定型(交替制)の月単位の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 発注者は、当初(発注)時において月単位の4週8休以上の休日率に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、完全週休2日(交替制)を達成した場合、完全週休2日(交替制)の補正係数に変更するものとする。なお、休日率が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
3. 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日の交替制を達成した場合、主任(監理)技術者に対して「週休2日確保工事实施証明書」を発行するものとする。
4. 受注者は、週休2日確保工事を実施する場合は工事名標示板に月単位又は完全週休2日(交替制)の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は下図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。



(図) 工事名標示板への明示の例

1-32. ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めること目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項につ

いて工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

#### 1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

#### 2. 作業依頼の配慮

(1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。

(2) 休前日(金曜日など)に休日明け日(月曜日など)が期限日の依頼をしない。

(3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。

#### 3. ワンデーレスポンスの再徹底

(1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。

#### 4. 留意事項

(1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。

(2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

### 1-33. 情報共有システム利用の対象工事

1. 本工事は、情報共有システムを利用する対象工事であり、情報共有システムを利用することを原則とする。ただし、契約締結後に受注者が監督職員と協議し、通信回線を確保出来ない等の理由により利用することが困難と判断した場合は、この限りでない。

2. 使用する工事情報共有システムは、LGWAN 環境で使用できるものを選定し、監督員の承諾を得たうえで決定すること。

3. 情報共有システムの利用に関する費用については、共通仮設費の率分に含まれる。また、登録料及び利用料については、受注者が支払うものとする。

4. 情報共有システムの利用については、「鶴岡市情報共有システム利用要領」に基づき実施すること。

5. これらに定められていない事項は、監督職員と協議するものとする。

6. 情報共有システムの運用にあたっては、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」を準用し実施するものとする。ガイドラインは山形県のホームページから入手できる

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課  
→ CALS/EC → 山形県の情報共有

### 1-34. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。了解を得ずに増工(増額)したものについては変更の対象としない。

2. 当初工程表より現場着工時期(実作業期間)に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。

3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

## 第2章 土 工

### 2-1. 残土受入地

受注後、土砂運搬工着手までに発注者が搬出先を決定する。運搬距離及び処分費については、協議するものとする。なお、発注時の運搬距離は2.0kmとしている。

## 第3章 無筋・鉄筋コンクリート

### 3-1. 配合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書(参考資料) レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工 種	区分番号	呼び強度	摘 要
均しコンクリート	②	18N/mm <sup>2</sup>	18-8-40
コンクリート	②	18N/mm <sup>2</sup>	18-8-40
コンクリート(集水桝工)	⑫	24N/mm <sup>2</sup>	24-8-25

## 第2編 材料編

### 第1章 一般事項

#### 1-1. 指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区 分	確 認 材 料 名	摘 要

#### 1-2. 工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

#### 1-3. 納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある(例えば二次製品、路盤材料の入替えなど)。

## 第2章 土木工事材料

### 2-1. 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材 料 名	規 格	使用箇所	摘 要
再生クラッシャーラン	80 mm以下	基礎砕石	
再生クラッシャーラン	40 mm以下	下層路盤	
再生アスファルト合材	再生細粒度 As13	表層(歩道部)	
再生アスファルト合材	再生粗粒度 As20	基層	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As20F、20F 改質Ⅱ型	表層	
再生アスファルト合材	再生密粒度 As13	表層	仮舗装

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破碎、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料(新材の砕石、ズリ、コンクリートを製造し破碎したもの等)が混合されていない状態のものをいう。
2. 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生砕石(RC-40)は下記の品質基準を満足するものとする。
3. 修正 CBR  
下層路盤材 修正 CBR 値 40%以上  
歩道路盤材 修正 CBR 値 20%以上

### 2-2. 購入土

1. 適用用途に応じた土質区分の再利用土砂の使用を原則とし、監督職員の承諾を得なければならない。
2. 路床に使用する購入土は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。

### 2-3. セメントコンクリート製品等

本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。

防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。

### 2-4. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等
砕石	RC-40	庄内地区
砕石	M-40	庄内地区
土砂	山砂	庄内地区

## 第3編 土木工事共通編

### 第1章 総則

#### 1-1. 段階確認

共通仕様書 第3編 共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期
準備工	丁張り確認	丁張り完了時
路盤工	上層路盤	表層施工前
〃	下層路盤	上層路盤施工前

#### 1-2. 工事中の安全確保

土木工事にあつては、共通仕様書 第1編 1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱(国土交通省告示第496号、令和元年9月2日)を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

## 第2章 一般施工

#### 2-1. 濁水処理

1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。
2. 「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(受注業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者(受注業者)は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を把握し処理業者に提供することが必要である。

#### 2-2. 舗装工

道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなつてはならない。

### 2-3. 瀝青材料の散布

プライムコートの使用量は1.26 L/m<sup>2</sup>を標準とする。

タックコートの使用量は0.43L/m<sup>2</sup>を標準とする。

### 2-4. 工事現場の現場環境改善費

1. 本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。

この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。

2. 実施内容は、「現場環境改善(安全関係)3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策」を必須とするほか、下記の4計上費目ごとに1内容ずつの計5つの内容を選定のうえ、実施するものとする。

計上費目	実施する内容(率計上分)
現場環境改善 (仮設備関係)	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇、3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置、5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化、3. デザインボックス(交通誘導員待機室) 4. 現場休憩所の快適化、5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等)、3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む)、9. 社会貢献

3. 受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。

4. 以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意すること。

(1) 仮設関係: 仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット

(2) 営繕関係: デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置

(3) 安全関係: バリケード、転落防止柵

### 2-5. 快適トイレの設置

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。なお、快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

◆快適トイレに求める機能

- (1) 洋式(洋風)便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

◆付属品として備え付けるもの

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

◆推奨する仕様と付属品

- (12) 内寸法900×900mm以上(面積ではない)
- (13) 擬音装置(機能を含む)
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場(トイレトペーパー予備置き場等)

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用について、当初設計では計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す資料を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、設計変更時に見積書を提出するものとする。上記(1)～(11)の費用については従来品相当額を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限については、男女別で各1基ずつ2基/●工事(施工箇所)までとする。また、運搬費は、共通仮設費(率)に含むものとし、2基/●工事(施工箇所)よりも多く設置する場合や上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)での支出を認めるものとして、別途計上は行わない。

# 一 般 明 示 事 項

## 1-1. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

## 1-2. 施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、維持工事や小規模工事(請負金額200万円以下)においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

## 1-3. 環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

# 現場説明事項書

## 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

### [ 共通事項 ]

#### 1. 現場説明事項書について

現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が十分な見積りができるように条件明示するものです。

そのため、明示された条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項に基づき、適切に対応するものである。また、明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件についても、契約書の関連する条項にもとづき受注者と発注者とが協議できるものである。

#### 2. 自主施工の原則について

施工の明示については、施工方法、機械施設等の仮設、その他目的物を完成するために必要な一切の手段等については、自主施工の原則（契約書第1条第3項）に基づき、施工者の創意工夫を損なわないよう留意している。

そのため、設計図書の外に提示する「参考図」及び「参考資料」、「歩掛」は、現場説明参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、請負契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意すること。

### 【雨水道形第1-1幹線】

#### [ 工事の施工関係 ]

1. 工事の施工にあたり水道管が支障となることから対応方法について別途協議します。  
なお、その他の支障物件等が生じた場合も別途協議します。
2. 工事の施工にあたり近接事業所のフェンス、門扉などの一時撤去を計画していますが、本工事で原形復旧まで対応予定とします。また、事業所敷地内への影響把握として事前事後調査費を当初計上しておりませんが、別途協議の上、設計変更の対象とします。
3. 残土運搬先は新産業団地を予定していますが、条件に変更があった場合は、対応方法について別途協議します。

#### [ 用地関係 ]

1. 施工に伴う代替駐車場等として必要となる借地に関しては当初計上しておりません。  
借地箇所及び期間等について別途協議の上、設計変更の対象とします。

[ 公害関係 ]

1. 本工事で必要となる騒音、振動、粉塵等に対する調査及び対策に関しては当初計上しておりません。調査及び対策方法等を別途協議の上、設計変更の対象とします。

# 数量総括表

工事名：鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

工事番号：

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量
下水道工事						
<雨水>						
	土工					
		作業土工				
			床掘	BH0.8m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	360
			床掘	BH0.8m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	570
			床掘	BH0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	100
			基面整正		m <sup>2</sup>	400
		(良質土)	埋戻し	W1<1m	m <sup>3</sup>	140
			埋戻し	1<W1≤4m	m <sup>3</sup>	80
		(流用土)	埋戻し	W1<1m	m <sup>3</sup>	130
			埋戻し	1<W1≤4m	m <sup>3</sup>	40
		残土運搬処理工				
			流用土運搬	L=2.0km以下 往路-積込-復路	m <sup>3</sup>	190
			残土運搬処理	L=2.0km以下 新産業団地造成地	m <sup>3</sup>	850
	排水構造物工					
		函渠工				
			ボックスカルバート据付工	②1.25<B≤2.5、0<H≤1.25 基礎材(均しコンクリート)	m	150
			ボックスカルバート材料費		式	1
			マットレス基礎	t=300(2層)、150MP W=2560	m <sup>2</sup>	383
		集水樹工				
			集水樹	B2100×2100×H1700 24-8-25 W/C≤55 高炉B種	式	1
			マットレス基礎	t=300(2層)、150MP	m <sup>2</sup>	20
		点検孔工	1No.29+1.54 蓋(受枠)及び調整コンクリート ブロック据付工		組	1
			調整リング	φ600×50	個	1
			調整金具	調整高45mm	組	1
			鉄蓋及び受枠	φ600 T-14(圧力解放型)	組	1
			足掛金物	幅300mm タタイル合成樹脂被覆	個	4
		既設1053路線接続工	1031-E路線			
			基礎碎石	RC-80	m <sup>2</sup>	3
			コンクリート	18-8-40 W/C≤60 高炉B種 無筋、BH打設、一般養生	m <sup>3</sup>	2
			型枠	一般型枠 無筋構造物	m <sup>2</sup>	12

# 数量 総括表

工事名： 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

工事番号：

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量
			鉄筋工	一般構造用 10t未満 SD345 D13 各種補正無	t	0.02
			あと施工アンカー	ARケミカルセッター(MU-12)	本	19
			目地板	瀝青繊維質板 t=10mm	m <sup>2</sup>	0.9
			足場工	単管足場	掛m <sup>2</sup>	7
			足場工	単管傾斜足場	掛m <sup>2</sup>	2
			管布設工	鋼管 呼び径200mm	m	1.0
			防護管(材料)	SP φ200 t=4.5mm	m	1.4
			管布設工	塩化ビニル管 呼び径150mm	m	1.6
			塩化ビニル管	プレーエンド直管VU φ150	m	1.6
			受口カラー(材料)	VU φ150	個	1
			受口ヤリトリ継手(材料)	VU φ150	個	1
			大型土のう	仕拵～設置～撤去 設置作業半径6m以下	袋	10
			土のう	仕拵～積立～撤去	袋	4
	構造物撤去工					
		構造物とりこわし工				
			舗装版切断	t=15cm以下	m	169
			舗装版破砕	t=4cm以下	m <sup>2</sup>	301
			舗装版破砕	t=10cmを超え15cm以下	m <sup>2</sup>	244
			構造物とりこわし	無筋構造物	m <sup>3</sup>	30
			構造物とりこわし	鉄筋構造物	m <sup>3</sup>	47
		運搬処理工				
			殻運搬	舗装版、DID有 鶴岡建設 L=8.5km	m <sup>3</sup>	46
			殻運搬	無筋構造物、DID有 田川砂利工業 L=7.3km	m <sup>3</sup>	30
			殻運搬	鉄筋構造物、DID有 田川砂利工業 L=7.3km	m <sup>3</sup>	47
	付帯工					
		舗装工				
		(歩道_一般部)	下層路盤(歩道部)	歩道(一般部) RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	294
			表層(歩道部)	歩道(一般部) 再生細粒度As(13) t=3cm	m <sup>2</sup>	294
		(歩道_第1種通路部)	下層路盤(歩道部)	歩道(第1種通路) RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	106
			上層路盤(歩道部)	歩道(第1種通路) M-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	42
			基層(歩道部)	歩道(第1種通路) 再生粗粒度As(20) t=10cm	m <sup>2</sup>	42
			表層(歩道部)	歩道(第1種通路) 再生密粒度As(20F) t=5cm	m <sup>2</sup>	42
			上層路盤(歩道部)	歩道(第1種通路) 仮復旧 M-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	64

# 数量総括表

工事名： 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

工事番号：

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量
			表層（歩道部）	歩道（第1種通路）仮復旧 再生密粒度As(13) t=5cm	m <sup>2</sup>	93
		(車道部)	下層路盤（車道部）	車道（N5交通） RC-40 t=47cm	m <sup>2</sup>	51
			上層路盤（車道部）	車道（N5交通） M-40 t=12cm	m <sup>2</sup>	34
			基層（車道部）	車道（N5交通） 再生粗粒度As(20) t=5cm	m <sup>2</sup>	55
			表層（車道部）	車道（N5交通） 再生密粒度As(20F改質II型) t=5cm	m <sup>2</sup>	55
			上層路盤（車道部）	車道（N5交通） M-40 t=17cm 仮復旧	m <sup>2</sup>	51
			表層（車道部）	車道（N5交通） 再生密粒度As(13) t=5cm 仮復旧	m <sup>2</sup>	61
		側溝工				
			L型側溝	H370-T200-L2000(500幅エブ <sup>®</sup> 付) (LS3-M-h200-T180)	m	94
			L型側溝	H370-T200-L2000(500幅エブ <sup>®</sup> 付) (LS3-F-h200-T180)	m	23
			L型側溝（乗入部）	H220-T200-L2000(500幅エブ <sup>®</sup> 付) (LS3-F-h20-T180(1種))	m	5
		排水ます工				
			路面排水ます		箇所	9
			歩車道境界ブロック	(路面排水ます分)	m	5.4
			管布設	硬質塩化ビニル管VUφ150	m	11
			90° 曲管	90ST φ150	個	9
		カルバート工				
			ボックスカルバート	RC-BOX□500×500	m	0.9
		境界ブロック工				
			地先境界ブロック	C種 150×150	m	120
			歩車道境界ブロック	A種	m	48
		防護柵工（再利用撤去）				
			メッシュフェンス撤去（再利用）	H=1200 支柱間隔2m	m	114
			門扉撤去（再利用）	片開き	基	6
			門扉撤去（再利用）	両開き	基	1
			ガードパイプ撤去（再利用）	土中建込 H550	m	6
			転落防止柵撤去（再利用）	H1100	m	4
		防護柵工（設置）				
			メッシュフェンス設置	H=1200 支柱間隔2m	m	114
			メッシュフェンス設置	H=1500 支柱間隔2m	m	0
			門扉設置	片開き	基	6
			門扉設置	両開き	基	1
			ガードパイプ設置	土中建込 H550	m	6

# 数量総括表

工事名： 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

工事番号：

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量
			転落防止柵設置	H1100	m	4
		植栽移植工（仮移植＋復旧）				
			中木	樹高200cm以上300cm未満	本	79
		函渠工端部処理（次期工事までの仮締切）				
			鉄板設置工		m <sup>2</sup>	3.3
			鉄板購入費	914×1829	枚	2
			大型土のう	仕拵～設置 設置作業半径6m以下	袋	2
	仮設工					
		建込み簡易土留め	1031-D路線			
			建込み工	H=2.5m	m	148
			引抜き工	H=2.5m	枚	148
			賃料及び整備費		式	1
		軽量鋼矢板土留め	No.1031-D-1集水柵仮設土留			
			軽量鋼矢板圧入	圧入長4.0m以下	m	44
			軽量鋼矢板引抜	引抜長4.0m以下	m	44
			軽量金属支保工設置・撤去		m	14
			賃料及び整備費		式	1
		水替工				
			ポンプ設置・撤去		箇所	1
			工事用水中ポンプ運転		式	1
		交通管理工				
			交通誘導警備員B	交通誘導警備員B	式	1
<汚水>						
	汚水管路布設工					
		作業土工				
			<雨水共埋> 床掘	BH0.8m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	18
			<雨水共埋> 床掘	BH0.8m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	48
			<汚水単独> 床掘	BH0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	11
			<汚水単独> 床掘	BH0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	14
		(良質土)	<雨水共埋> 埋戻し	1m<W1<4m	m <sup>3</sup>	46
		(良質土)	<汚水単独> 埋戻し	W1<1m	m <sup>3</sup>	20
		残土運搬処理工				
			残土処理	新産業団地造成地	m <sup>3</sup>	90

# 数量総括表

工事名：鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

工事番号：

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量
		管路布設工				
			砕石基礎	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	8
			リップ付硬質塩化ビニル管布設工	PRP φ 200	m	57
			下水道用埋設表示シート		m	57
			埋設表示テープ		m	77
			ベント管10°	PRP φ 200	個	1
			可とう継手	PRP φ 200	個	1
		建込み簡易土留め				
			建込み工	H=2.5m	m	13
			引抜き工	H=2.5m	枚	13
			賃料及び整備費		式	1
		水替工				
			ポンプ設置・撤去		箇所	1
			工事用水中ポンプ運転		式	1
		マンホール工				
			小型マンホール 起点・中間点	φ 200-VU φ 300 深2.5m以下	箇所	4
			保護鉄蓋 φ 300	T-8	組	2
			保護鉄蓋 φ 300	T-25	組	2
		取付管及び柵工				
			取付管布設工	VU φ 150	m	4.1
			さや鋼管布設工	鋼管 呼び径250mm	m	2.6
			下水道用埋設表示シート		m	2
			埋設表示テープ		m	2
			ます設置工	塩ビ製 φ 200	m	1
		交通管理工				
			交通誘導警備員B	交通誘導警備員B	式	1
間接工事費						
	共通仮設費					
		運搬費				
			仮設材等の運搬	12m以内	t	18.3
			仮設材等の積込み取卸し	積込み取卸し(往復分)	t	18.3
		技術管理費				
			試験費	キャスポル	箇所	3

# 数量 総括 表

工 事 名： 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第1-1幹線1031号新設工事

工事番号：

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単位	設計数量
				締固めた土のコン指数試験	箇所	1
			カメラ調査	本管カメラ調査工	m	58
				報告書作成工（本管調査）	m	58
				取付管カメラ調査工	箇所	1
				報告書作成工（取付管調査）	箇所	1

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名 鶴岡市公共下水道事業 雨水道形第 1-1 幹線 1031 号新設工事

- 1) この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- 2) この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。
- 3) 原則として、各種補正や単価等の金額に関する質問には回答できません。

鶴岡市建設部土木課  
(併) 下水道部雨水事務室

第 7号

運搬費

1式当たり

内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
運搬費		式	1			第 28号明細書
計						

























第 9号

残土運搬 (流用土)

1m<sup>3</sup>当たり

単価表

L=2.0km以下 往路-積込-復路

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	標準、ハック材山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 、土砂(岩塊・玉石混)	m <sup>3</sup>	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ハック材山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:2.0km以下					
積込 (ルーズ)	土砂、土量50,000m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	1			
	土質:土砂 作業内容:土量50,000m <sup>3</sup> 未満					
土砂等運搬	標準、ハック材山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 、土砂(岩塊・玉石混)	m <sup>3</sup>	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:ハック材山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:2.0km以下					
計						

第 10号

1m<sup>3</sup>当たり

単価表

残土運搬処理

L=2.0km以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬	標準、バックホウ山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 、土砂(岩塊・玉石混)	m <sup>3</sup>	1			
	土砂等発生現場:標準 積込機種・規格:バックホウ山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
	DID区間の有無:有り 運搬距離:2.0km以下					
計						



第 12号

## ボックスカルバート材料費

1式当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L2,000（標準）、T-25	本	57			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L2,000 側壁VU150開口、T-25	本	9			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L2,000 側壁□500開口、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L2,000 点検孔φ600開口 T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L600（短尺）、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L615（短尺）、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L950（短尺）、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L1,000（短尺）、T-25	本	8			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L760/677（片斜切）、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L996/913（片斜切）、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L1,206/607（片斜切）、T-25	本	1			
耐震性ボックスカルバート（ゴムリング型）	B1,600×H1,200×L1,214/615（片斜切）、T-25	本	1			
計						

第 13号

100㎡当たり

単価表

ボックスカルバート基礎

GN-150MP H300(2層)×W2,560

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
グラウンドセル (Mタイプ)	GN-150MP×W2,560	㎡	210			
セル接続材	ジョイント	個	72			
吸出し防止材	長繊維不織布	㎡	268			
樹脂アンカーピン	□20×300L	本	120			
基礎碎石	RC-40、12.5cmを超え17.5cm以下 碎石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下	㎡	200			
計						
1㎡当たり						

第 14号

1式当たり

単価表

集水桝工 (No. 1031-E-1)

2,100×2,100×1,700

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、バックホウ(クレーン機能付)打設、24-8-25	m <sup>3</sup>	5			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:バックホウ(クレーン機能付)打設 コンクリート規格:24-8-25(高炉)					
	養生工の種類:一般養生					
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m <sup>2</sup>	26			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物					
鉄筋工	一般構造物	t	0.41			第 21号単価表
均しコンクリート	無筋・鉄筋構造物、バックホウ(クレーン機能付)打設、18-8-40	m <sup>3</sup>	1			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:バックホウ(クレーン機能付)打設 コンクリート規格:24-12-25(20)(高炉)					
	養生工の種類:一般養生					
型枠	一般型枠、均しコンクリート	m <sup>2</sup>	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:均しコンクリート					
インバートコンクリート	無筋・鉄筋構造物、バックホウ(クレーン機能付)打設、18-8-40	m <sup>3</sup>	0.8			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:バックホウ(クレーン機能付)打設 コンクリート規格:18-8-40					



第 15号

集水柵基礎工

10.2㎡当たり

単価表

GN-150MP H300(2層)×3,200×3,179

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
普通作業員		人				
グランドセル (Mタイプ)	GN-150MP-5	㎡	24.4			
セル接続材	ジョイント	個	22			
吸出し防止材	長繊維不織布	㎡	25.8			
樹脂アンカーピン	□20×300L	本	18			
基礎碎石	RC-40、12.5cmを超え17.5cm以下 碎石の厚さ:12.5cmを超え17.5cm以下	㎡	20.3			
計						
1㎡当たり						





第 18号

基礎碎石

1㎡当たり

単価表

17.5cmを超え20.0cm以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基礎碎石	17.5cmを超え20.0cm以下	㎡	1			
	碎石の厚さ:17.5cmを超え20.0cm以下					
計						



第 20号

1㎡当たり

単価表

型枠

一般型枠、鉄筋・無筋構造物

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	㎡	1			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物					
計						



第 22号

1孔当たり

単価表

コンクリート削孔（電動ハンマドリル）  
30mm以上200mm未満

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	1			
	削孔深さ:30mm以上200mm未満					
計						

第 23号

1㎡当たり

単価表

目地板  
30m2未満

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
目地板	30m2未満	㎡	1			
	1工事当り使用量:30m2未満					
計						









第 28号

10袋当たり

単価表

大型土のう製作・設置  
バックホリ設置

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
大型土のう	1t丸型 110×108cm	袋	10			
土砂		m <sup>3</sup>	10			
バックホリ運転費(クローラ型)クレーン付-製作・設置(バックホリ設	後方超小旋回型 標準型排対型	日	0.294			第 1号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1袋当たり						





第 31号

舗装切断

1m当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下					
計						

第 32号

1㎡当たり

単価表

舗装版破碎

アスファルト舗装版、15cm以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版破碎	アスファルト舗装版、無し、不要、15cm以下	㎡	1			
	舗装版種別:アスファルト舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要					
	舗装版厚:15cm以下					
計						











第 38号

1㎡当たり

単価表

下層路盤（歩道部）

t=10cm、1層施工、RC-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第 39号

1㎡当たり

単価表

表層（歩道部）

1.4m以上、t=3cm、再生細粒度アスコン(13)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（歩道部）	1.4m以上、実数入力、再生細粒度アスコン(13)	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生細粒度アスコン(13)					
	瀝青材料種類:フ°ライムコート PK-3					
計						



第 41号

1㎡当たり

単価表

上層路盤（歩道部）

t=10cm、1層施工、M-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第 42号

1㎡当たり

単価表

基層（歩道部）

1.4m以上、t=10cm、再生粗粒度アスコン（20）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基層（歩道部）	1.4m以上、実数入力、再生粗粒度アスコン(20)、フ°ライムコート	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生粗粒度アスコン(20)					
	瀝青材料種類:フ°ライムコート PK-3					
計						

第 43号

1㎡当たり

単価表

表層（歩道部）

1.4m以上、t=5cm、再生密粒度アスコン（20F）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（歩道部）	1.4m以上、実数入力、再生密粒度アスコン(20F)	㎡	1			
	平均幅員:1.4m以上 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生密粒度アスコン(20F)					
	瀝青材料種類:タックコート PK-4					
計						





第 46号

1㎡当たり

単価表

下層路盤（歩道部）

t=47cm、3層施工、RC-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤（歩道部）	実数入力、3層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:3層施工					
計						

第 47号

1㎡当たり

単価表

上層路盤（歩道部）

t=12cm、1層施工、M-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤（歩道部）	実数入力、1層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工					
計						

第 48号

1㎡当たり

単価表

基層（歩道部）

1.4m未満、t=5cm、再生粗粒度アスコン（20）

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層（歩道部）	1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、再生粗粒度(20)	㎡	1			
	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生粗粒度アスコン(20)					
	瀝青材料種類:フ°ライムコート PK-3					
計						



第 50号

上層路盤（歩道部）仮舗装  
t=17cm、2層施工、M-40

1㎡当たり

単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
上層路盤（歩道部）	実数入力、2層施工	㎡	1			
	全仕上り厚:実数入力 施工区分:2層施工					
計						









第 55号

1m当たり

単価表

歩車道境界ブロック

設置、B種(180/205×250×600)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
歩車道境界ブロック	設置、B種(180/205×250×600)、再生クラッシュ RC	m	1			
	作業区分:設置 ブロック規格:B種(180/205×250×600) 基礎碎石規格:再生クラッシュ RC-40					
	均し基礎コンクリート規格:18-8-40 養生工の有無:有り					
計						





第 58号

1m当たり

単価表

地先境界ブロック

設置、C種(150×150×600)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
地先境界ブロック	設置、C種(150×150×600)、再生クラッシュ RC-40、	m	1			
	作業区分:設置 ブロック規格:C種(150×150×600) 基礎碎石規格:再生クラッシュ RC-40					
	均し基礎コンクリート規格:無し					
計						

第 59号

1m当たり

単価表

歩車道境界ブロック

設置、A種(150/170×200×600)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
歩車道境界ブロック	設置、A種(150/170×200×600)、再生クラッシュ RC	m	1			
	作業区分:設置 ブロック規格:A種(150/170×200×600) 基礎碎石規格:再生クラッシュ RC-40					
	均し基礎コンクリート規格:無し					
計						











第 65号

10m当たり

単価表

メッシュフェンス設置（布基礎）  
再利用

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
金網・支柱（立入防止柵）	基礎ブロック、2m	m	10			
	基礎種別:基礎ブロック 支柱間隔:2m					
基礎碎石	7.5cmを超え12.5cm以下	m <sup>2</sup>	3.5			
	碎石の厚さ:7.5cmを超え12.5cm以下					
コンクリート	無筋・鉄筋構造物、人力打設、18-8-40、一般養生、有り	m <sup>3</sup>	1.13			
	構造物種別:無筋・鉄筋構造物 打設工法:人力打設 コンクリート規格:18-8-40					
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:有り					
型枠	一般型枠、鉄筋・無筋構造物	m <sup>2</sup>	9			
	型枠の種類:一般型枠 構造物の種類:鉄筋・無筋構造物					
計						
1 m当たり						

第 66号

1基当たり

単価表

門扉設置  
再利用、片開き

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
門扉	片開き、2m以下	基	1			
	門扉種別:片開き 門柱高:2m以下					
計						

第 67号

1基当たり

単価表

門扉設置  
両開き

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
門扉	再利用、両開き	基	1			
	門扉種別:両開き					
計						











第 73号

10袋当たり

単価表

大型土のう製作・設置

バックホリ設置、耐候性大型土のう

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
耐候性大型土のう	2 t ポリエステル製, 短期仮設対応(1年)	袋	10			
土砂		m <sup>3</sup>	10			
バックホリ運転費(クローラ型)クレーン付-製作・設置(バックホリ設	後方超小旋回型 標準型排対型	日	0.294			第 1号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1袋当たり						













第 80号

100m当たり

単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

2段、掘削深3.5m以下、水圧式パイプサポート

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
腹起材質料		式	1			
切梁材質料	(軽量金属切梁材)	式	1			
水圧ポンプ賃料		式	1			
諸雑費		式	1			
計						
1 m当たり						







第 84号

1m<sup>3</sup>当たり

単価表

床掘り<雨水共埋>  
土砂、標準

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
床掘り	土砂、標準、無し、無し	m <sup>3</sup>	1			
	土質:土砂 施工方法:標準 土留方式の種類:無し					
	障害の有無:無し					
計						

第 85号

1m<sup>3</sup>当たり

単価表

床掘り<雨水共埋>

土砂、標準、切梁腹起式、障害有り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
床掘り	土砂、標準、切梁腹起式、有り	m <sup>3</sup>	1			
	土質:土砂 施工方法:標準 土留方式の種類:切梁腹起式					
	障害の有無:有り					
計						

































































